



A	
AAA ダウン ポリシー、NAC レイヤ 2 IP 検証	1-9
ABR	34-27
access-class コマンド	31-21
ACE	
IP	31-2
QoS	32-7
イーサネット	31-2
定義	31-2
ACL	
QoS	32-7
ACE	31-2
any キーワード	31-14
host キーワード	31-14
IP	
暗黙の拒否	31-11, 31-16, 31-17
一致条件	31-8
作成	31-8
フラグメントおよび QoS に関する注意事項	32-33
未定義	31-22
無視マスク	31-11
IPv4	
一致条件	31-8
インターフェイスへの適用	31-21
作成	31-8
サポートしない機能	31-8
端末回線、設定	31-20
名前付き	31-16
番号	31-9
IPv6	
一致条件	37-3
インターフェイスへの適用	37-8
サポートしない機能	37-3
制限事項	37-3
設定	37-4, 37-5
名前付き	37-3
表示	37-10
他の機能との相互作用	37-4
優先	37-2
MAC 拡張	31-29, 32-46
QoS	32-44
QoS クラス マップあたりの個数	32-33
QoS のトラフィックの分類	32-44
VLAN マップ	
設定	31-32
設定時の注意事項	31-33
エントリのシーケンスの再編集	31-16
拡張 IP	
QoS の分類の設定	32-44
拡張 IPv4	
一致条件	31-8
作成	31-11
コメント	31-20
コンパイル	31-24
サポート	1-8
サポート タイプ	31-2
サポートしない機能	
IPv6	37-3
サポートしない機能、IPv4	31-8
時間範囲	31-18
照合	31-8, 31-22, 37-3
定義	31-2, 31-8
適用	
IPv6 インターフェイス	37-9
QoS	32-7
インターフェイス	31-21, 37-8
時間範囲	31-18
スイッチド パケット	31-41
ブリッジド パケット	31-42
マルチキャスト パケット	31-43
ルーテッド パケット	31-42
名前	37-4

- 名前付き
 - IPv6 37-3
 - 名前付き、IPv4 31-16
 - ハードウェアおよびソフトウェアの処理 31-23
 - ハードウェアのサポート 31-23
 - 標準 IPv4
 - 一致条件 31-8
 - 作成 31-10
 - 標準 IP、QoS の分類設定 32-44
 - ポート 31-2, 37-2
 - モニタ 31-44, 37-10
 - 優先 31-3
 - ルータ 31-2, 37-2
 - ルータ ACL と VLAN マップの設定時の注意事項 31-40
 - ルータ ACL を VLAN マップと組み合わせて使用する
方法 31-40
 - 例 31-24, 32-44
 - レイヤ 4 情報 31-41
 - ログメッセージ 31-10
 - ACL エントリのシーケンスの再編集 31-16
 - AC (アクティブ クラスタ コマンド スイッチ) 5-9
 - Address Resolution Protocol
 - ARP を参照
 - Area Border Router
 - ABR を参照
 - ARP
 - カプセル化 34-10
 - スタティック キャッシュの設定 34-9
 - 設定 34-9
 - 定義 1-5, 6-28, 34-9
 - テーブル
 - アドレス解決 6-28
 - 管理 6-28
 - AS パス フィルタ、BGP 34-56
 - ASBR 34-27
 - AS、BGP 内 34-49
 - Auto-MDIX
 - 設定 10-22
 - 説明 10-22
 - Autonomous System Boundary Router
 - ASBR を参照
- ## B
- BackboneFast
 - イネーブル化 19-15
 - サポート 1-6
 - 説明 19-6
 - ディセーブル化 19-15
 - BGP
 - CIDR 34-62
 - clear コマンド 34-65
 - show コマンド 34-65
 - イネーブル化 34-49
 - コミュニティ フィルタリング 34-58
 - サポート 1-10
 - 集約アドレス 34-62
 - 集約ルート、設定 34-62
 - スーパーネット 34-62
 - セッションのリセット 34-52
 - 説明 34-46
 - デフォルト設定 34-47
 - ネイバの設定 34-60
 - ネイバ、タイプ 34-49
 - バージョン 4 34-46
 - パスの選択 34-53
 - ピア、設定 34-60
 - プレフィクス フィルタリング 34-57
 - マルチ VRF CE におけるルーティング セッション
34-72
 - マルチパス サポート 34-53
 - モニタ 34-65
 - ルーティング ドメイン連合 34-63
 - ルート ダンピング化 34-64
 - ルート マップ 34-55
 - ルート リフレクタ 34-63
 - Border Gateway Protocol
 - BGP を参照
 - BPDU
 - errdisable ステート 19-3
 - RSTP フォーマット 18-13
 - フィルタリング 19-3
 - BPDU ガード
 - イネーブル化 19-12
 - サポート 1-6
 - 説明 19-3
 - ディセーブル化 19-13
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 19-13

- サポート 1-6
- 説明 19-3
- ディセーブル化 19-14
- Bridge Protocol Data Unit
 - BPDU を参照
- C
- CA の信頼点 8-43
 - 設定 8-46
 - 定義 8-43
- CDP
 - イネーブル化およびディセーブル化
 - インターフェイス上 25-5
 - スイッチ上 25-4
 - 概要 25-2
 - 更新 25-3
 - サポート 1-5
 - 信頼境界機能 32-39
 - スイッチクラスタの自動検出 5-4
 - 設定 25-3
 - 説明 25-2
 - タイマーおよびホールドタイム、設定 25-3
 - デフォルト設定 25-3
 - 電力ネゴシエーションの拡張機能 10-7
 - モニタ 25-6
 - ルーティング デバイスでのディセーブル化 25-4?25-5
 - レイヤ2 プロトコル トンネリング 16-9
- CE デバイス 34-67
- CE デバイス内のマルチ VRF
 - マルチ VRF CE を参照
- CEF
 - IPv6 35-15
 - イネーブル化 34-79
 - 定義 34-78
- CGMP
 - IGMP スヌーピングの学習方法 23-9
 - 概要 39-8
 - キャッシュに格納されたグループ エントリのクリア 39-52
 - サーバ サポート機能 39-8
 - サーバ サポート機能のイネーブル化 39-34
 - スイッチ サポート 1-4
 - マルチキャスト グループへの加入 23-3
- CIDR 34-62
- CipherSuite 8-44
- CipherSuite 暗号化 8-45
- Cisco 7960 IP Phone 15-2
- Cisco Discovery Protocol
 - CDP を参照
- Cisco Express Forwarding
 - CEF を参照
- Cisco Group Management Protocol
 - CGMP を参照
- Cisco IOS DHCP サーバ
 - DHCP を参照
- Cisco IOS ファイル システム
 - IFS を参照
- Cisco Network Assistant
 - Network Assistant を参照
- CiscoWorks 2000 1-5, 30-5
- CIST リージョナル ルート
 - MSTP を参照
- CIST ルート
 - MSTP を参照
- Classless InterDomain Routing
 - CIDR を参照
- CLI
 - エラー メッセージ 2-5
 - クラスタの管理 5-15
 - コマンド モード 2-2
 - コマンド出力のフィルタリング 2-10
 - コマンドの no および default 形式 2-5
 - コマンドの省略 2-4
 - コンフィギュレーション ロギング 2-6
 - 説明 1-5
 - ヒストリ
 - コマンドの呼び出し 2-7
 - 説明 2-6
 - ディセーブル化 2-7
 - バッファ サイズの変更 2-6
 - ヘルプ、表示 2-4
 - 編集機能
 - イネーブル化およびディセーブル化 2-8
 - 画面幅よりも長いコマンドライン 2-10
 - キーストロークによる編集 2-8
- CNS 1-5
- Configuration Engine
 - ConfigID、DeviceID、ホスト名 4-4
 - イベント サービス 4-3
 - コンフィギュレーション サービス 4-3

- 説明 4-2
- 管理機能 1-5
- 組み込み型エージェント
 - イベントエージェントのイネーブル化 4-9
 - コンフィギュレーションエージェントのイネーブル化 4-10
 - 自動設定のイネーブル化 4-8
 - 説明 4-6
- Coarse Wave Division Multiplexer
 - CWDM SFP も参照
- config.text 3-13
- configure terminal コマンド 10-11
- config-vlan モード 2-3, 12-8
- CoS
 - プライオリティの信頼 15-7
 - プライオリティの変更 15-7
 - レイヤ2 フレーム 32-2
- CoS/DSCP マップ、QoS 32-63
- crashinfo ファイル 42-29
- CWDM SFP 1-22

- D
- default コマンド 2-5
- description コマンド 10-26
- DHCP
 - Cisco IOS サーバ データベース
 - 設定 21-14
 - 説明 21-7
 - デフォルト設定 21-9
 - イネーブル化
 - サーバ 21-11
 - リレー エージェント 21-11
- DHCP Option 82
 - 回線 ID サブオプション 21-5
 - 概要 21-4
 - 設定時の注意事項 21-10
 - デフォルト設定 21-9
 - 転送アドレス、指定 21-11
 - パケットフォーマット、サブオプション
 - 回線 ID 21-5
 - リモート ID 21-5
 - 表示 21-16
 - ヘルパー アドレス 21-11
 - リモート ID サブオプション 21-5
- DHCP スヌーピング
 - Option 82 データ挿入 21-4
 - trusted インターフェイス 21-3
 - untrusted インターフェイス 21-3
 - untrusted メッセージ 21-3
 - エッジスイッチからの untrusted パケットの受信 21-3, 21-13
 - 設定時の注意事項 21-10
 - デフォルト設定 21-9
 - バインディング データベース
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
 - バインディング テーブルの表示 21-16
 - プライベート VLAN 21-14
 - メッセージ交換プロセス 21-5
- DHCP スヌーピング バインディング データベース
 - イネーブル化 21-15
 - エージェント統計情報の消去 21-15
 - エントリ 21-7
 - 削除
 - データベース エージェント 21-15
 - バインディング 21-15
 - バインディング ファイル 21-15
 - 設定 21-15
 - 設定時の注意事項 21-10
 - 説明 21-7
 - データベースの更新 21-15
 - デフォルト設定 21-9
 - バインディング 21-7
 - バインディング ファイル
 - フォーマット 21-8
 - 保存場所 21-7
 - バインディングの追加 21-15
 - 表示 21-16
 - ステータスおよび統計情報 21-16
 - バインディング エントリ 21-16
 - リセット
 - タイムアウト値 21-15
 - 遅延値 21-15
- DHCP スヌーピング バインディング テーブル
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP バインディング データベース
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照

- DHCP バインディング テーブル
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
 - DHCP ベースの自動設定
 - BOOTP との関係 3-4
 - 概要 3-4
 - クライアント要求のメッセージ交換 3-4
 - サポート 1-5
 - 設定
 - DNS 3-7
 - TFTP サーバ 3-6
 - クライアント側 3-4
 - サーバ 21-11
 - サーバ側 3-5
 - リレー デバイス 3-7
 - リース オプション
 - IP アドレス情報 3-5
 - コンフィギュレーション ファイルの受信 3-6
 - リレー サポート 1-5, 1-11
 - 例 3-9
 - Differentiated Services Code Point 32-2
 - DiffServ アーキテクチャ、QoS 32-2
 - Diffusing Update Algorithm (DUAL) 34-37
 - distribute-list コマンド 34-90
 - DNS
 - DHCP ベースの自動設定 3-7
 - IPv6 内 35-4
 - 概要 6-17
 - サポート 1-5
 - 設定 6-17
 - 設定の表示 6-18
 - デフォルト設定 6-17
 - DoS 攻撃 24-2
 - dot1q-tunnel スイッチポート モード 12-21
 - DSCP 1-9, 32-2
 - DSCP/CoS マップ、QoS 32-66
 - DSCP/DSCP 変換マップ、QoS 32-67
 - DTP 1-7, 12-20
 - DUAL 有限状態マシン、EIGRP 34-38
 - DVMRP
 - DVMRP ルータへの PIM ドメインの接続 39-40
 - mrinfo 要求、応答 39-43
 - 概要 39-8
 - サポート 1-11
 - 自動サマライズ
 - サマリー アドレスの設定 39-48
 - ディセーブル化 39-50
 - 相互運用性
 - Cisco IOS ソフトウェア 39-8
 - シスコ デバイス 39-38
 - 送信元配信ツリー、構築 39-8
 - トンネル
 - 設定 39-40
 - ネイバ情報の表示 39-43
 - ネイバ
 - 情報の表示 39-43
 - デフォルト ルートのアドバタイズメント 39-42
 - 非プルーニング ネイバとのピアリングの禁止 39-46
 - 非プルーニング ネイバの拒否 39-45
 - プローブ メッセージによる検出 39-38
 - ユニキャスト ルーティングのイネーブル化 39-44
 - ルーティング テーブル 39-8
 - ルート
 - MBONE に入る個数の制限 39-47
 - Syslog メッセージのしきい値の変更 39-47
 - 削除 39-52
 - すべてをアドバタイズ 39-50
 - ネイバへのデフォルト ルートのアドバタイズ 39-42
 - 表示 39-53
 - メトリック オフセットの追加 39-50
 - 優先度 39-50
 - ユニキャスト ルート アドバタイズメントの制限 39-38
 - レポート メッセージで取得された DVMRP ルートのキャッシュへの格納 39-44
 - dynamic auto トランキンング モード 12-20
 - dynamic desirable トランキンング モード 12-20
 - Dynamic Host Configuration Protocol
 - DHCP ベースの自動設定を参照
 - Dynamic Trunking Protocol
 - DTP を参照
- ## E
- EBGP 34-45
 - EIGRP
 - インターフェイス パラメータ、設定 34-41
 - コンポーネント 34-37
 - サポート 1-10

- スタブ ルーティング 34-43
 - 設定 34-40
 - 定義 34-37
 - デフォルト設定 34-38
 - 認証 34-42
 - モニタ 34-44
 - Enhanced IGRP
 - EIGRP を参照
 - errdisable ステート
 - BPDU 19-3
 - EtherChannel
 - IEEE 802.3ad、説明 33-6
 - LACP
 - システムプライオリティ 33-19
 - ステータスの表示 33-21
 - 説明 33-6
 - 他の機能との相互作用 33-6
 - ポートプライオリティ 33-19
 - ホットスタンバイポート 33-18
 - モード 33-6
 - PAgP
 - Catalyst 1900 との互換性 33-17
 - 学習方式およびプライオリティの設定 33-17
 - サポート 1-4
 - 集約ポート ラーナー 33-17
 - ステータスの表示 33-21
 - 説明 33-4
 - 他の機能との相互作用 33-5
 - モード 33-5
 - サポート 1-4
 - 自動作成 33-4, 33-6
 - ステータスの表示 33-21
 - 設定
 - レイヤ 2 インターフェイス 33-11
 - レイヤ 3 物理インターフェイス 33-14
 - レイヤ 3 ポートチャンネル論理インターフェイス 33-13
 - 設定時の注意事項 33-10
 - 説明 33-2
 - 相互作用
 - STP 33-10
 - VLAN 33-10
 - チャンネル グループ
 - 番号 33-3
 - 物理インターフェイスと論理インターフェイスのバインド 33-3
 - デフォルト設定 33-9
 - 転送方式 33-7, 33-16
 - ポート グループ 10-6
 - ポートチャンネル インターフェイス
 - 説明 33-3
 - 番号 33-3
 - レイヤ 3 インターフェイス 34-4
 - ロードバランシング 33-7, 33-16
 - 論理インターフェイス、説明 33-3
 - EtherChannel ガード
 - イネーブル化 19-15
 - 説明 19-8
 - ディセーブル化 19-16
 - EUI 35-4
 - Express Setup 1-3
 - 『Getting Started Guide』も参照
 - Extended Universal Identifier
 - EUI を参照
 - Extensible Authentication Protocol over LAN 9-2
 - External BGP
 - EBGP を参照
- ## F
- fa0 インターフェイス 1-6
 - FIB 34-78
 - Flex Link
 - 設定 20-6
 - 設定時の注意事項 20-5
 - 説明 20-2
 - デフォルト設定 20-5
 - モニタ 20-10
 - Forwarding Information Base
 - FIB を参照
 - FTP
 - MIB ファイルへのアクセス A-4
 - イメージファイル
 - アップロード B-30
 - 準備、サーバ B-27
 - ダウンロード B-28
 - 古いイメージの削除 B-30
 - コンフィギュレーション ファイル
 - アップロード B-15
 - 概要 B-13
 - 準備、サーバ B-14
 - ダウンロード B-14

- G**
- get-bulk-request 動作 30-4
 - get-next-request 動作 30-4, 30-5
 - get-request 動作 30-4, 30-5
 - get-response 動作 30-4
 - GUI
 - デバイス マネージャおよび Network Assistant を参照
- H**
- Hello タイム
 - MSTP 18-24
 - STP 17-21
 - Hot Standby Router Protocol
 - HSRP を参照
 - HP OpenView 1-5
 - HSRP
 - ICMP リダイレクト メッセージのサポート 38-11
 - オブジェクト追跡 38-19
 - 概要 38-2
 - クラスタ グループにバインド 38-11
 - クラスタ スタンバイ グループの考慮事項 5-10
 - クラスタ設定の自動復旧 5-12
 - クラスタ、クラスタ スタンバイ グループ、およびスタンバイ コマンド スイッチも参照
 - コマンドスイッチの冗長構成 1-2, 1-6
 - 設定 38-5
 - タイマー 38-10
 - 注意事項 38-5
 - 追跡 38-7
 - 定義 38-1
 - デフォルト設定 38-5
 - 認証ストリング 38-10
 - プライオリティ 38-7
 - モニタ 38-12
 - レイヤ 3 ルータの冗長構成 1-10
 - HTTP over SSL
 - HTTPS を参照
 - HTTPS 8-43
 - 自己署名証明書 8-44
 - 設定 8-46
- I**
- IBGP 34-45
 - ICMP
 - IPv6 35-4
 - time-to-live-exceeded メッセージ 42-21
 - traceroute 42-21
 - サポート 1-11
 - 到達不能メッセージ 31-21
 - 到達不能メッセージおよび IPv6 37-4
 - 到達不能、ACL 31-23
 - リダイレクト メッセージ 34-12
 - ICMP ping
 - 概要 42-17
 - 実行 42-17
 - ICMP Router Discovery Protocol
 - IRDP を参照
 - ICMPv6 35-4
 - IDS 装置
 - 入力 RSPAN 27-22
 - 入力 SPAN 27-14
 - IEEE 802.1D
 - STP を参照
 - IEEE 802.1p 15-2
 - IEEE 802.1Q
 - カプセル化 12-19
 - 設定に関する制約 12-21
 - その他の機能を含むトンネル ポート 16-7
 - タグなしトラフィック用のネイティブ VLAN 12-26
 - トランク ポート 10-4
 - トンネリング
 - 説明 16-2
 - 他の機能との互換性 16-7
 - デフォルト値 16-5
 - IEEE 802.1s
 - MSTP を参照
 - IEEE 802.1w
 - RSTP を参照
 - IEEE 802.1x
 - ポートベース認証を参照
 - IEEE 802.3ad
 - EtherChannel を参照
 - IEEE 802.3af
 - PoE を参照
 - IEEE 802.3x フロー制御 10-21
 - ifIndex 値、SNMP 30-6

- IFS 1-5
- IGMP
 - Join メッセージ 23-3
 - 概要 39-3
 - キャッシュ エントリの削除 39-52
 - クエリー 23-4
 - グループへのアクセスの制御 39-29
 - 高速スイッチング 39-33
 - サポート 1-4
 - サポート対象のバージョン 23-3
 - スイッチの設定
 - グループのメンバー 39-28
 - スタティックに接続されたメンバー 39-33
 - 即時脱退、イネーブル化 23-11, 36-10
 - 脱退タイマーの設定
 - イネーブル化 23-11
 - 説明 23-6
 - デフォルト設定 39-28
 - 統計情報の表示 39-53
 - バージョン 1
 - 説明 39-3
 - バージョン 2 への変更 39-30
 - バージョン 2
 - クエリー タイムアウト 39-32
 - グループのプルーニング 39-32
 - 最大クエリー応答時間 39-32
 - 説明 39-3
 - バージョン 1 への変更 39-30
 - ホストクエリー インターバル、変更 39-31
 - マルチキャストグループからの脱退 23-5
 - マルチキャストグループへの加入 23-3
 - マルチキャストトラフィックのフラッドイング
 - インターフェイスでディセーブル 23-13
 - クエリー送信要求 23-13
 - グローバル Leave 23-13
 - 時間の制御 23-12
 - フラッドイングモードからの回復 23-13
 - マルチキャストの到達可能性 39-28
 - レポートの抑制
 - 説明 23-6
 - ディセーブル化 23-16, 36-12
- IGMP グループ
 - 最大数の設定 23-30
 - フィルタリングの設定 23-31
- IGMP スヌーピング
 - VLAN 設定 23-8
- アドレス エイリアス 23-2
- イネーブル化およびディセーブル化 23-7, 36-7
- クエリア
 - 設定 23-14
 - 設定時の注意事項 23-14
- グローバル コンフィギュレーション 23-7
- サポート 1-4
- サポート対象のバージョン 23-3
- 設定 23-7
- 即時脱退 23-5
- 定義 23-2
- デフォルト設定 23-7, 36-6, 36-7
- 方法 23-8
- モニタ 23-17, 36-13
- IGMP スロットリング
 - 設定 23-31
 - 説明 23-27
 - デフォルト設定 23-28
 - 表示 23-32
- IGMP 即時脱退
 - イネーブル化 23-11
 - 設定時の注意事項 23-11
 - 説明 23-5
- IGMP フィルタリング
 - サポート 1-4
 - 設定 23-28
 - 説明 23-27
 - デフォルト設定 23-28
 - モニタ 23-32
- IGMP プロファイル
 - コンフィギュレーション モード 23-28
 - 設定 23-28
 - 適用 23-29
- IGP 34-27
- interface range macro コマンド 10-14
- interface コマンド 10-11
- Interior Gateway Protocol
 - IGP を参照
- Internal BGP
 - IBGP を参照
- Internet Control Message Protocol
 - ICMP を参照
- Internet Protocol version 6
 - IPv6 を参照
- IP ACL
 - QoS の分類 32-7

- 暗黙の拒否 31-11, 31-16
- 名前付き 31-16
- 未定義 31-22
- 無視マスク 31-11
- ip cef コマンド 34-78
- ip igmp profile コマンド 23-28
- IP Phone
 - QoS 15-2
 - QoS によるポートセキュリティの確保 32-39
 - QoS 信頼境界機能 32-39
 - 自動分類およびキューイング 32-21
 - 設定 15-5
- IP precedence 32-2
- IP traceroute
 - 概要 42-21
 - 実行 42-22
- IP アドレス
 - 128 ビット 35-2
 - IP 情報も参照
 - IP ルーティング 34-5
 - IPv6 35-2
 - MAC アドレスとの相互作用 34-8
 - クラス 34-6
 - クラスタ アクセス 5-2
 - 検出 6-28
 - 候補またはメンバー 5-3, 5-12
 - コマンドスイッチ 5-3, 5-10, 5-12
 - 冗長クラスタ 5-10
 - スタンバイ コマンドスイッチ 5-10, 5-12
 - デフォルト設定 34-5
 - モニタ 34-18
- IP サービス イメージ 1-2
- IP 指定ブロードキャスト 34-14
- IP 情報
 - デフォルト設定 3-3
 - 割り当て
 - DHCP ベースの自動設定の使用 3-4
 - 手動 3-11
- IP ソース ガード
 - 802.1x 21-19
 - DHCP スヌーピング 21-17
 - EtherChannel 21-19
 - TCAM エントリ 21-19
 - VRF 21-19
 - イネーブル化 21-20
- スタティック バインディング
 - 削除 21-20
 - 追加 21-20
- 設定時の注意事項 21-19
- 説明 21-17
- 送信元 IP アドレス フィルタリング 21-17
- 送信元 IP および MAC アドレス フィルタリング 21-18
- ディセーブル化 21-20
- デフォルト設定 21-19
- トランク インターフェイス 21-19
- バインディング テーブル 21-17
- バインディング設定
 - 自動 21-17
 - 手動 21-17
- 表示
 - 設定 21-21
 - バインディング 21-21
- フィルタリング
 - 送信元 IP アドレス 21-17
 - 送信元 IP および MAC アドレス 21-18
- プライベート VLAN 21-19
- ポートセキュリティ 21-19
- ルーテッド インターフェイス 21-19
- IP ブロードキャスト アドレス 34-16
- IP プロトコル
 - ACL 31-13
 - ルーティング 1-10
- IP ベース イメージ 1-2
- IP マルチキャスト ルーティング
 - CGMP も参照
 - DVMRP も参照
 - IGMP スヌーピング 23-2
 - IGMP も参照
 - MBONE
 - sdr キャッシュ エントリの削除 39-52
 - sdr キャッシュ エントリの存在期間の制限 39-36
 - sdr キャッシュの表示 39-53
 - sdr リスナー サポート機能のイネーブル化 39-35
 - Session Directory (sdr) ツール、説明 39-35
 - アドバタイズされる DVMRP ルートの制限 39-47
 - 会議セッション アナウンスメント用の SAP パケット 39-35
 - 説明 39-35

- PIM も参照
- PIMv1 および PIMv2 の相互運用性 39-9
- Reverse Path Forwarding (RPF) チェック 39-6
- RP
 - PIMv2 BSR の設定 39-19
 - 自動 RP および BSR の使用法 39-23
 - 自動 RP の設定 39-14
 - 手動割り当て 39-13
 - マッピング情報のモニタ 39-24
- アドレス
 - すべてのシステム 39-3
 - すべてのマルチキャスト ルータ 39-3
 - ホスト グループ アドレス範囲 39-3
- イネーブル化
 - PIM モード 39-12
 - マルチキャスト転送 39-11
- 管理の有効範囲付き境界、説明 39-36
- グループ /RP マッピング
 - BSR 39-6
 - 自動 RP 39-5
- シスコの実装 39-2
- 自動 RP
 - BSR との使用法 39-23
 - 概要 39-5
 - 既存の SM クラウドへの追加 39-15
 - キャッシュのクリア 39-52
 - 候補 RP スプーフィングの禁止 39-17
 - 新規インターネットワークでの設定 39-15
 - 設定時の注意事項 39-10
 - 着信 RP アナウンスメント メッセージのフィルタリング 39-17
 - 問題のある RP への Join メッセージの送信禁止 39-17
 - 利点 39-14
- 設定
 - IP マルチキャスト境界 39-36
 - 基本的なマルチキャスト ルーティング 39-11
- デフォルト設定 39-9
- 統計情報、システムおよびネットワークの表示 39-52
- ブートストラップ ルータ
 - IP マルチキャスト境界の定義 39-20
 - PIM ドメイン境界の定義 39-19
 - 概要 39-6
 - 候補 BSR の設定 39-21
 - 候補 RP の設定 39-22
 - 自動 RP による使用法 39-23
 - 設定時の注意事項 39-10
- プロトコルの動作 39-2
- マルチキャスト転送、説明 39-6
- モニタ
 - パケット速度および損失情報 39-53
 - パスのトレース 39-53
 - ピアリング デバイス 39-53
- ルーティング テーブル
 - 削除 39-52
 - 表示 39-53
- IP ユニキャスト ルーティング
 - ARP 34-9
 - BGP も参照
 - EIGRP も参照
 - EtherChannel レイヤ 3 インターフェイス 34-4
 - IGP 34-27
 - IP アドレス
 - クラス 34-6
 - 設定 34-5
 - IPv6 35-3
 - IRDP 34-12
 - MAC アドレスおよび IP アドレス 34-8
 - OSPF も参照
 - RIP も参照
 - SVI を使用 34-4
 - UDP 34-16
 - VLAN 間 34-2
 - アドレス解決 34-8
 - イネーブル化 34-20
 - 管理距離 34-80, 34-91
 - 逆アドレス解決 34-8
 - クラスレス ルーティング 34-7
 - 再配信 34-82
 - サブネットゼロ 34-6
 - サブネットマスク 34-6
 - 指定ブロードキャスト 34-14
 - スーパーネット 34-7
 - スタティック ルーティング 34-3
 - スタティック ルートの設定 34-80
 - 設定手順 34-4
 - ダイナミック ルーティング 34-3
 - ディセーブル化 34-20
 - デフォルト
 - アドレス指定の設定 34-5
 - ゲートウェイ 34-12

- ネットワーク 34-81
 - ルーティング 34-3
 - ルート 34-81
 - 認証鍵 34-92
 - パッシブ インターフェイス 34-89
 - ブロードキャスト
 - アドレス 34-16
 - ストーム 34-14
 - パケット 34-14
 - フラッドイング 34-17
 - プロキシ ARP 34-9
 - プロトコル
 - ダイナミック 34-3
 - ディスタンス ベクタ 34-3
 - リンクステート 34-3
 - ルーテッド ポート 34-4
 - レイヤ 3 インターフェイス 34-4
 - レイヤ 3 インターフェイスへの IP アドレスの割り当て 34-6
 - IP ルーティング
 - イネーブル化 34-20
 - インターフェイスの接続 10-10
 - ディセーブル化 34-20
 - IP ルーティング ステート 追跡 38-13
 - IP ルート、モニタ 34-93
 - IPv4 ACL
 - インターフェイスへの適用 31-21
 - 拡張、作成 31-11
 - 名前付き 31-16
 - 標準、作成 31-10
 - IPv4 と IPv6
 - インターフェイスの設定 35-13
 - 相違点 35-2
 - デュアルプロトコル スタック 35-6
 - IPv6
 - ACL
 - 一致条件 37-3
 - 制限事項 37-3
 - 表示 37-10
 - ポート 37-2
 - 優先順位 37-2
 - ルータ 37-2
 - CEFv6 35-15
 - ICMP 35-4
 - ICMP レート制限 35-15
 - OSPF 35-20
 - RIP 35-18
 - SDM テンプレート 7-3, 35-8, 36-1, 37-1
 - アドレス 35-2
 - アドレス フォーマット 35-3
 - アドレスの割り当て 35-10
 - アプリケーション 35-6
 - イネーブル化 35-10
 - 機能制限 35-7
 - 近接ディスカバリ 35-4
 - サポートされている機能 35-3
 - サポートされない機能 35-7
 - 自動設定 35-5
 - スイッチの制限 35-7
 - スタティック ルートの設定 35-16
 - 定義 35-1
 - デフォルト設定 35-10
 - パス MTU ディスカバリ 35-4
 - 目的 35-2
 - モニタ 35-23
 - 利点 35-2
 - IPv6 トラフィック、フィルタリング 37-4
 - IRDP
 - サポート 1-11
 - 設定 34-12
 - 定義 34-12
 - ISL
 - IEEE 802.1 トンネリングによるトランキンク 16-5
 - IPv6 35-3
 - カプセル化 1-7, 12-19
 - トランク ポート 10-4
- ## J
- Join メッセージ、IGMP 23-3
- ## K
- KDC
 - Kerberos も参照
 - 説明 8-33
 - Kerberos
 - KDC 8-33
 - TGT 8-35
 - 暗号化ソフトウェア イメージ 8-33
 - サーバ 8-35

- サポート 1-9
- 証明書 8-33
- 信頼できるサードパーティとしてのスイッチ 8-33
- 設定 8-37
- 設定例 8-33
- 説明 8-33
- チケット 8-33
- 動作 8-35
- 認証の取得
 - KDC 8-36
 - 境界スイッチ 8-36
 - ネットワーク サービス 8-36
- 用語 8-34
- レルム 8-35
- Key Distribution Center
 - KDC を参照

- L
- l2protocol-tunnel コマンド 16-14
- LACP
 - EtherChannel を参照
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-10
- LDAP 4-3
- LED、スイッチ
 - ハードウェア インストールガイドを参照
- Lightweight Directory Access Protocol
 - LDAP を参照
- Link Aggregation Control Protocol
 - EtherChannel を参照
- Link State Advertisement (LSA) 34-31
- Long-Reach Ethernet (LRE) テクノロジー 1-17
- LRE プロファイル、スイッチ クラスタの考慮事項 5-14

- M
- MAB エージング タイマー
 - 説明 1-7
- MAB 無活動タイマー
 - デフォルト設定 9-23
 - 範囲 9-25
- MAC アドレス
 - ACL 31-29
 - IP アドレスとの相互作用 34-8
 - IP 送信元バインディング テーブルでの表示 21-21
 - VLAN との対応付け 6-22
 - アドレス テーブルの作成 6-21
 - エージング タイム 6-22
 - 検出 6-28
 - スタティック
 - 許可 6-27
 - 削除 6-26
 - 追加 6-26
 - 特性 6-25
 - 廃棄 6-27
 - ダイナミック
 - 削除 6-23
 - ラーニング 6-21
 - デフォルト設定 6-22
 - 表示 6-28
- MAC アドレス テーブル移動更新
 - 設定 20-7
 - 設定時の注意事項 20-5
 - 説明 20-3
 - デフォルト設定 20-5
 - モニタ 20-10
- MAC アドレス通知、サポート 1-11
- MAC アドレスと VLAN のマッピング 12-31
- MAC 拡張 ACL
 - QoS の設定 32-46
 - QoS の分類 32-5
 - 作成 31-29
 - 定義 31-29
 - レイヤ 2 インターフェイスへの適用 31-30
- MAC 認証バイパス
 - MAB を参照
- maximum-paths コマンド 34-53, 34-79
- MDA
 - 設定時の注意事項 9-19?9-20
 - 説明 1-8, 9-19
 - 認証プロセスの例外 9-4
- MHSRP 38-4
- MIB
 - FTP によるファイルへのアクセス A-4
 - SNMP との相互作用 30-5
 - 概要 30-2
 - サポート A-2
 - ファイルの位置 A-4

- MSDP
 - DM 領域
 - SA メッセージの送信 40-16
 - 発信元アドレスの設定 40-17
 - MSDP 接続および統計情報のクリア 40-18
 - SA メッセージ
 - TTL によるデータの制限 40-13
 - アダプタイズされる送信元の制限 40-9
 - キャッシュ エントリのクリア 40-18
 - キャッシング 40-6
 - 着信のフィルタリング 40-13
 - 定義 40-2
 - ピアからのフィルタリング 40-10
 - ピアへのフィルタリング 40-12
 - モニタ 40-18
 - 概要 40-2
 - 加入遅延、定義 40-6
 - サポート 1-11
 - 送信元情報の制御
 - スイッチから発信 40-8
 - スイッチで受信 40-13
 - スイッチで転送 40-11
 - デフォルト設定 40-4
 - 発信元アドレス、変更 40-17
 - ピア
 - シャットダウン 40-15
 - 送信元情報の要求 40-8
 - デフォルト設定 40-4
 - ピアリング関係、概要 40-2
 - モニタ 40-18
 - ピア RPF フラッドイング 40-2
 - フィルタリング
 - 着信 SA メッセージ 40-13
 - ピアからの SA 要求メッセージ 40-10
 - ピアへの SA メッセージ 40-12
 - メッシュ グループ
 - 設定 40-15
 - 定義 40-15
 - 利点 40-3
- MSTP
 - BPDU ガード
 - イネーブル化 19-12
 - 説明 19-3
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 19-13
 - 説明 19-3
 - CIST リージョナルルート 18-3
 - CIST ルート 18-5
 - CIST、説明 18-3
 - CST
 - 定義 18-3
 - リージョン間の動作 18-4
 - EtherChannel ガード
 - イネーブル化 19-15
 - 説明 19-8
 - IEEE 802.1D との相互運用性
 - 移行プロセスの再起動 18-27
 - 説明 18-9
 - IEEE 802.1s
 - 実装 18-7
 - ポートの役割名の変更 18-7
 - 用語 18-5
 - IST
 - 定義 18-3
 - マスター 18-3
 - リージョン内の動作 18-3
 - MST リージョン
 - CIST 18-3
 - IST 18-3
 - サポートできるスパニングツリー インスタンス 18-2
 - 設定 18-17
 - 説明 18-2
 - ホップ カウント メカニズム 18-5
 - PortFast
 - イネーブル化 19-11
 - 説明 19-2
 - PortFast 対応ポートのシャットダウン 19-3
 - VLAN と MST インスタンスのマッピング 18-18
 - インターフェイス ステート、ブロッキングから
フォワーディング 19-2
 - オプション機能のデフォルト設定 19-10
 - 概要 18-2
 - 拡張システム ID
 - 異常動作 18-19
 - セカンダリ ルート スイッチへの影響 18-20
 - ルート スイッチへの影響 18-19
 - 境界ポート
 - 設定時の注意事項 18-17
 - 説明 18-6
 - サポートされるインスタンス 17-10
 - サポートされるオプション機能 1-6
 - ステータスの表示 18-28

- ステータス、表示 18-28
- 設定
 - Hello タイム 18-24
 - MST リージョン 18-17
 - 高速コンバージェンス用リンク タイプ 18-26
 - 最大エージング タイム 18-25
 - 最大ホップ カウント 18-26
 - スイッチプライオリティ 18-23
 - セカンダリ ルート スイッチ 18-20
 - 転送遅延時間 18-25
 - ネイバ タイプ 18-27
 - パス コスト 18-22
 - ポート プライオリティ 18-21
 - ルート スイッチ 18-19
- 設定時の注意事項 18-17, 19-10
- デフォルト設定 18-16
- モード間の相互運用性と下位互換性 17-10
- モードのイネーブル化 18-17
- ルート ガード
 - イネーブル化 19-16
 - 説明 19-8
- ルート スイッチ
 - 異常動作 18-19
 - 拡張システム ID の影響 18-19
 - 設定 18-19
- ルート スイッチとしての選択防止 19-8
- ループ ガード
 - イネーブル化 19-17
 - 説明 19-9
- Multicast Source Discovery Protocol
 - MSDP を参照
- Multiple HSRP
 - MHSRP を参照
- MVR
 - IGMPv3 23-22
 - アドレス エイリアス 23-22
 - アプリケーション例 23-20
 - インターフェイスの設定 23-24
 - グローバル パラメータの設定 23-23
 - サポート 1-4
 - 設定時の注意事項 23-22
 - 説明 23-19
 - デフォルト設定 23-22
 - マルチキャスト TV アプリケーション 23-20
 - モード 23-23
- モニタ 23-26
- N
- NAC
 - AAA ダウン ポリシー 1-9
 - RADIUS サーバを使用した IEEE 802.1x 検証 9-40
 - RADIUS サーバを使用した IEEE 802.1x 認証 9-40
 - アクセス不能認証バイパス 1-9, 9-37
 - クリティカル認証 9-15, 9-37
 - レイヤ 2 IEEE 802.1x 検証 1-8, 9-19, 9-40
 - レイヤ 2 IP 検証 1-9
- NameSpace Mapper
 - NSM を参照
- Network Assistant
 - イメージファイルのダウンロード 1-3
 - ウィザード 1-3
 - ガイド モード 1-3
 - 管理オプション 1-3
 - 機能 1-3
 - スイッチのアップグレード B-21
 - 説明 1-5
 - 要件 xliiii
- Network Time Protocol
 - NTP を参照
- no switchport コマンド 10-5
- no 形式 2-5
- not-so-stubby area
 - NSSA を参照
- NSM 4-3
- NSSA、OSPF 34-31
- NTP
 - アクセスの制限
 - アクセス グループの作成 6-10
 - インターフェイスごとの NTP サービスのディセーブル化 6-11
 - アソシエーション
 - サーバ 6-7
 - 定義 6-3
 - 認証 6-6
 - ピア 6-7
 - ブロードキャスト メッセージのイネーブル化 6-8
 - 概要 6-3
 - サポート 1-5

- 時刻
 - サービス 6-3
 - 同期化 6-3
 - ストラタム 6-3
 - 設定の表示 6-12
 - 送信元 IP アドレス、設定 6-11
 - デバイスの同期化 6-7
 - デフォルト設定 6-5
- O**
- Open Shortest Path First
- OSPF を参照
- OSPF
- IPv6 35-20
 - LSA グループ同期 34-34
 - インターフェイス パラメータ、設定 34-30
 - エリア パラメータ、設定 34-31
 - 仮想リンク 34-33
 - サポート 1-10
 - 設定 34-29
 - 説明 34-27
 - デフォルト設定
 - 設定 34-28
 - メトリック 34-33
 - ルート 34-33
 - モニタ 34-36
 - ルータ ID 34-35
 - ルート サマライズ 34-33
- P**
- PAgP
- EtherChannel を参照
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-10
- PBR
- PBR の高速スイッチング 34-89
 - イネーブル化 34-87
 - 定義 34-85
 - ローカル PBR 34-89
- PC (パッシブ クラスタ コマンド スイッチ) 5-9
- PE デバイス 34-68
- PE/CE ルーティング、設定 34-72
- Per-VLAN Spanning-Tree plus
- PVST+ を参照
- PIM
- dense (稠密) モード
 - RPF チェック 39-7
 - 概要 39-4
 - ランデブー ポイント (RP)、説明 39-5
 - SPT、使用の延期 39-26
 - 概要 39-4
 - 希薄モード
 - Join メッセージおよび共有ツリー 39-5
 - Prune メッセージ 39-5
 - RPF チェック 39-7
 - 概要 39-5
 - 共有ツリーおよび送信元ツリー、概要 39-25
 - サポート 1-11
 - デフォルト設定 39-9
 - ネイバの表示 39-53
 - バージョン
 - v2 の改善点 39-4
 - 相互運用性 39-9
 - 相互運用性に関するトラブルシューティング 39-24
 - モードのイネーブル化 39-12
 - ルータクエリー メッセージインターバル、変更 39-27
- PIM/DVMRP、スヌーピング方法 23-8
- ping
- 概要 42-17
 - 実行 42-17
 - 文字出力の説明 42-18
- PoE
- auto モード 10-9
 - CDP の電力ネゴシエーション拡張機能 10-7
 - IEEE 電力分類レベル 10-8
 - static モード 10-9
 - サポートされるデバイス 10-7
 - サポート対象の標準 10-7
 - シスコ インテリジェント電力管理 10-7
 - 受電装置検出および初期電力割り当て 10-8
 - 設定 10-23
 - 低電力モードで動作する高電力デバイス 10-7
 - 電力管理モード 10-9
 - 電力消費 10-24
 - 電力消費を含む CDP、説明 10-7
 - 電力をネゴシエーションする CDP、説明 10-7
 - トラブルシューティング 42-14
 - パワー バジェット 10-24
 - ポートごとにサポートされるワット数 10-7

- Port Aggregation Protocol
 - EtherChannel を参照
- PortFast
 - イネーブル化 19-11
 - サポート 1-6
 - 説明 19-2
 - モード、スパニングツリー 12-32
- Power over Ethernet
 - PoE を参照
- Protocol-Independent Multicast Protocol
 - PIM を参照
- PVST+
 - IEEE 802.1Q トランクの相互運用性 17-11
 - サポートされるインスタンス 17-10
 - 説明 17-9
- Q
- QoS
 - IP Phone
 - 検出および信頼設定 32-21, 32-39
 - 自動分類およびキューイング 32-21
 - MQC コマンド 32-1
 - QoS ラベル、定義 32-4
 - 暗黙の拒否 32-7
 - 概要 32-2
 - 書き換え 32-20
 - 基本モデル 32-4
 - キュー
 - SRR、説明 32-14
 - WTD、説明 32-13
 - 位置 32-13
 - 出力キューの特性の設定 32-72
 - 入力キューの特性の設定 32-68
 - ハイ プライオリティ (緊急) 32-19, 32-78
 - クラス マップ
 - 設定 32-47
 - 表示 32-80
 - グローバルなイネーブル化 32-35
 - サポート 1-9
 - 自動 QoS
 - VoIP 用のイネーブル化 32-26
 - 実行コンフィギュレーションの影響 32-25
 - 出力キューのデフォルト 32-22
 - 生成コマンドの表示 32-27
 - 生成コマンドのリスト 32-23
 - 設定およびデフォルトの表示 32-30
 - 設定時の注意事項 32-25
 - 設定の表示 32-30
 - 設定例 32-28
 - 説明 32-21
 - ディセーブル化 32-27
 - トラフィックの分類 32-21
 - 入力キューのデフォルト 32-22
 - 出力インターフェイスの帯域幅の制限 32-79
 - 出力キュー
 - DSCP または CoS 値のマッピング 32-75
 - SRR の共有重みの設定 32-77
 - SRR のシェーピング重みの設定 32-76
 - WTD しきい値の設定 32-73
 - WTD、説明 32-19
 - マップの表示 32-76
 - スケジューリング、説明 32-4
 - 説明 32-4
 - バッファ スペースの割り当て 32-73
 - バッファ割り当て方式、説明 32-18
 - フローチャート 32-17
 - 信頼状態
 - 信頼におけるデバイス 32-39
 - 説明 32-5
 - ドメイン内 32-37
 - 別のドメインとの境界 32-41
 - 設定
 - DSCP マップ 32-62
 - IP 拡張 ACL 32-44
 - IP 標準 ACL 32-44
 - MAC ACL 32-46
 - 階層型のポリシー マップ 32-53
 - 自動 QoS 32-21
 - 集約ポリサー 32-60
 - 出力キューの特性 32-72
 - 信頼境界機能 32-39
 - デフォルトのポート CoS 値 32-38
 - 透過的な DSCP 32-40
 - ドメイン内のポートの信頼状態 32-37
 - 入力キューの特性 32-68
 - 物理ポートのポリシー マップ 32-49
 - 別のドメインとの境界の DSCP 信頼状態 32-41
 - 設定時の注意事項
 - 自動 QoS 32-25
 - 標準 QoS 32-33

- デフォルトの自動設定 32-21
 - デフォルトの標準設定 32-31
 - 透過的な DSCP 32-40
 - 統計情報の表示 32-80
 - 入力キュー
 - DSCP または CoS 値のマッピング 32-68
 - SRR の共有重みの設定 32-70
 - WTD しきい値の設定 32-68
 - WTD、説明 32-16
 - マップの表示 32-69
 - スケジューリング、説明 32-4
 - 説明 32-4
 - 帯域幅の割り当て 32-70
 - バッファスペースの割り当て 32-70
 - バッファおよび帯域幅の割り当て、説明 32-16
 - プライオリティキューの設定 32-71
 - プライオリティキュー、説明 32-16
 - フローチャート 32-15
 - パケットの変更 32-20
 - フローチャート
 - 出力ポートのキューイングおよびスケジューリング 32-17
 - 入力ポートのキューイングおよびスケジューリング 32-15
 - 分類 32-6
 - ポリシングおよびマーキング 32-10
 - 分類
 - DSCP の信頼状態、説明 32-5
 - IP ACL、説明 32-5, 32-7
 - IP precedence の信頼状態、説明 32-5
 - IP トラフィックのオプション 32-5
 - MAC ACL、説明 32-5, 32-7
 - クラスマップ、説明 32-7
 - 信頼性のある CoS 値、説明 32-5
 - 定義 32-4
 - 転送処理 32-3
 - 透過的な DSCP、説明 32-40
 - 非 IP トラフィックのオプション 32-5
 - フレームおよびパケット 32-3
 - フローチャート 32-6
 - ポリシーマップ、説明 32-7
 - ポリサー
 - 数 32-34
 - 設定 32-52, 32-57, 32-60
 - 説明 32-8
 - タイプ 32-9
 - 表示 32-80
 - ポリシー マップ
 - SVI の階層 32-53
 - 階層型 32-8
 - 特性 32-49
 - 表示 32-80
 - 物理ポートの非階層型 32-49
 - ポリシー、インターフェイスへの結合 32-9
 - ポリシング
 - 説明 32-4, 32-8
 - トークンバケットアルゴリズム 32-9
 - マーキング、説明 32-4, 32-8
 - マークダウンアクション 32-52, 32-57
 - マッピングテーブル
 - CoS/DSCP 32-63
 - DSCP/CoS 32-66
 - DSCP/DSCP 変換 32-67
 - IP precedence/DSCP 32-64
 - タイプ 32-12
 - 表示 32-80
 - ポリシング済み DSCP 32-65
 - QoS の CoS 出力キューしきい値マップ 32-19
 - QoS の CoS 入力キューしきい値マップ 32-16
 - QoS の DSCP 出力キューしきい値マップ 32-19
 - QoS の DSCP 入力キューしきい値マップ 32-16
 - QoS の IP precedence/DSCP マップ 32-64
 - QoS の緊急キュー 32-78
 - QoS のポリシング済み DSCP マップ 32-65
 - QoS 用信頼境界機能 32-39
- ## R
- ### RADIUS
- AAA サーバグループの定義 8-26
 - アトリビュート
 - バンダー固有 8-30
 - バンダー独自仕様 8-32
 - 概要 8-19
 - クラスタ 5-14
 - サーバの識別 8-21
 - サポート 1-9
 - 推奨するネットワーク環境 8-19
 - 設定
 - アカウンティング 8-29
 - 許可 8-28
 - 通信、グローバル 8-22, 8-30

- 通信、サーバ単位 8-21, 8-22
- 認証 8-24
- 複数の UDP ポート 8-22
- 設定の表示 8-32
- デフォルト設定 8-21
- 動作 8-20
- 方式リスト、定義 8-21
- ユーザがアクセスしたサービスの追跡 8-29
- ユーザへのサービスの制限 8-28
- Rapid Per-VLAN Spanning-Tree plus
 - Rapid PVST+ を参照
- Rapid PVST+
 - IEEE 802.1Q トランクの相互運用性 17-11
 - サポートされるインスタンス 17-10
 - 説明 17-9
- Rapid Spanning-Tree Protocol
 - RSTP を参照
- RARP 34-9
- rcommand コマンド 5-15
- RCP
 - イメージファイル
 - アップロード B-35
 - 準備、サーバ B-32
 - ダウンロード B-33
 - 古いイメージの削除 B-35
 - コンフィギュレーション ファイル
 - アップロード B-19
 - 概要 B-16
 - 準備、サーバ B-17
 - ダウンロード B-18
- Remote Authentication Dial-In User Service
 - RADIUS を参照
- Remote Copy Protocol
 - RCP を参照
- Remote Network Monitoring
 - RMON を参照
- Reverse Address Resolution Protocol
 - RARP を参照
- RFC
 - 1058、RIP 34-21
 - 1157、SNMPv1 30-2
 - 1166、IP アドレス 34-6
 - 1253、OSPF 34-27
 - 1163、BGP 34-45
 - 1267、BGP 34-45
 - 1771、BGP 34-45
- 1305、NTP 6-3
- 1587、NSSA 34-27
- 1757、RMON 28-2
- 1901、SNMPv2C 30-2
- 1902 ~ 1907、SNMPv2 30-2
- 1112、IP マルチキャストおよび IGMP 23-2
- 2236、IP マルチキャストおよび IGMP 23-2
- 2273 ~ 2275、SNMPv3 30-2
- RIP
 - IPv6 35-18
 - アドバタイズメント 34-21
 - サポート 1-10
 - サマリーアドレス 34-24
 - スプリット ホライズン 34-24
 - 設定 34-22
 - 説明 34-21
 - デフォルト設定 34-21
 - 認証 34-24
 - ホップ カウント 34-21
- RMON
 - アラームおよびイベントのイネーブル化 28-3
 - 概要 28-2
 - サポート 1-11
 - サポート対象グループ 28-2
 - ステータスの表示 28-6
 - デフォルト設定 28-3
 - 統計情報
 - イーサネット グループの収集 28-5
 - グループ ヒストリの収集 28-4
- route-map コマンド 34-88
- Routing Information Protocol
 - RIP を参照
- RSPAN
 - VLAN ベース 27-6
 - 宛先ポート 27-7
 - 概要 1-11, 27-2
 - 受信トラフィック 27-5
 - ステータスの表示 27-25
 - セッション
 - SPAN 送信元トラフィックの特定の VLAN への制限 27-24
 - 作成 27-19
 - 着信トラフィックのイネーブル化 27-22
 - 定義 27-4
 - モニタ対象ポートの指定 27-19
 - 設定時の注意事項 27-18

- 送信トラフィック 27-5
- 送信元ポート 27-6
- 他の機能との相互作用 27-8
- デフォルト設定 27-10
- 特性 27-8
- モニタ側ポート 27-7
- モニタ対象ポート 27-6
- RSTP
 - BPDU
 - 処理 18-14
 - フォーマット 18-13
 - IEEE 802.1D との相互運用性
 - 移行プロセスの再起動 18-27
 - 説明 18-9
 - トポロジの変更 18-14
 - MSTP も参照
 - アクティブ トポロジ 18-10
 - 概要 18-10
 - 高速コンバージェンス
 - エッジポートおよび PortFast 18-11
 - 説明 18-11
 - ポイントツーポイントリンク 18-11, 18-26
 - ルートポート 18-11
 - 指定スイッチ、定義 18-10
 - 指定ポート、定義 18-10
 - 提案 / 合意ハンドシェイク プロセス 18-11
 - ポートの役割
 - 説明 18-10
 - 同期化 18-12
 - ルートポート、定義 18-10
- S
 - SC (スタンバイ クラスタ コマンド スイッチ) 5-9
 - SDM
 - 説明 7-1
 - テンプレート
 - 数 7-2
 - 設定 7-5
 - SDM テンプレート
 - 設定 7-4
 - 設定時の注意事項 7-4
 - タイプ 7-2
 - デュアル IPv4/IPv6 7-3
 - Secure Shell
 - SSH を参照
 - Secure Socket Layer
 - SSL も参照
 - set-request 動作 30-5
 - SFP
 - ステータスのモニタリング 10-31, 42-16
 - ステータス、表示 42-16
 - セキュリティおよび ID 42-15
 - Shaped Round Robin
 - SRR を参照
 - show access-lists hardware counters コマンド 31-23
 - show cdp traffic コマンド 25-6
 - show cluster members コマンド 5-15
 - show configuration コマンド 10-26
 - show forward コマンド 42-26
 - show interfaces コマンド 10-20, 10-26
 - show l2protocol コマンド 16-15, 16-17, 16-18
 - show platform forward コマンド 42-26
 - show running-config コマンド
 - ACL の表示 31-21, 31-22, 31-34, 31-37
 - インターフェイスの記述の追加 10-26
 - show および more コマンド出力のフィルタリング 2-10
 - Simple Network Management Protocol
 - SNMP を参照
 - SmartPort マクロ
 - Web サイト 11-2
 - グローバルパラメータ値の適用 11-5, 11-7
 - 作成 11-4
 - シスコのデフォルト マクロ 11-7
 - 設定時の注意事項 11-3
 - 定義 11-2
 - デフォルト設定 11-3
 - トレース 11-3
 - パラメータ値の適用 11-5, 11-7
 - 表示 11-8
 - マクロの適用 11-5
 - SNAP 25-2
 - SNMP
 - ifIndex 値 30-6
 - MIB
 - 位置 A-4
 - サポート A-1
 - MIB 変数のアクセス 30-5
 - NMS に送信される Syslog メッセージの制限 29-10
 - TFTP サーバによるアクセスの制限 30-16

- エージェント
 - 説明 30-4
 - ディセーブル化 30-8
- エンジン ID 30-8
- 概要 30-2, 30-5
- クラスタ 5-14
- クラスタの管理 5-16
- グループ 30-7, 30-10
- コミュニティ ストリング
 - 概要 30-4
 - クラスタ スイッチ 30-4
 - 設定 30-8
- サポート対象のバージョン 30-2
- システム コンタクトおよびロケーション 30-16
- 情報
 - traps キーワード 30-12
 - イネーブル化 30-16
 - 説明 30-5
 - ディセーブル化 30-16
 - トラップとの相違 30-6
- ステータス、表示 30-18
- セキュリティ レベル 30-3
- 設定例 30-17
- 帯域内管理 1-6
- 通知 30-5
- デフォルト設定 30-7
- トラップ
 - MAC アドレス通知のイネーブル化 6-23
 - イネーブル化 30-12
 - 概要 30-2, 30-5
 - 情報との相違 30-6
 - 説明 30-4, 30-5
 - タイプ 30-12
 - ディセーブル化 30-16
 - トラップ マネージャ、設定 30-14
- 認証レベル 30-11
- ホスト 30-7
- マネージャ機能 1-5, 30-4
- ユーザ 30-7, 30-10
- SNMPv1 30-3
- SNMPv2C 30-3
- SNMPv3 30-3
- SPAN
 - VLAN ベース 27-6
 - 宛先ポート 27-7
 - 概要 1-11, 27-2
 - 受信トラフィック 27-5
 - ステータスの表示 27-25
 - セッション
 - SPAN 送信元トラフィックの特定の VLAN への制限 27-16
 - 宛先ポートの削除 27-13
 - 作成 27-11
 - 着信トラフィックのイネーブル化 27-14
 - 定義 27-4
 - 入力転送の設定 27-15, 27-23
 - モニタ対象ポートの指定 27-11
 - 設定時の注意事項 27-10
 - 送信トラフィック 27-5
 - 送信元ポート 27-6
 - 他の機能との相互作用 27-8
 - デフォルト設定 27-10
 - ポート、制約 24-13
 - モニタ側ポート 27-7
 - モニタ対象ポート 27-6
- SPAN トラフィック 27-5
- SRR
 - 共有モード 32-14
 - サポート 1-10
 - シェーピング モード 32-14
 - 設定
 - 出力キューでのシェーピング重み 32-76
 - 出力キューの共有重み 32-77
 - 入力キューの共有重み 32-70
 - 説明 32-14
- SSH
 - 暗号化ソフトウェア イメージ 8-39
 - 暗号化方式 8-39
 - サポートされているユーザ認証方式 8-39
 - 設定 8-40
 - 説明 1-6, 8-39
- SSL
 - 暗号化ソフトウェア イメージ 8-43
 - セキュア HTTP クライアントの設定 8-48
 - セキュア HTTP サーバの設定 8-46
 - 設定時の注意事項 8-45
 - 説明 8-43
 - モニタ 8-49
- standby ip コマンド 38-6
- STP
 - BackboneFast
 - イネーブル化 19-15

- 説明 19-6
- ディセーブル化 19-15
- BPDU ガード
 - イネーブル化 19-12
 - 説明 19-3
 - ディセーブル化 19-13
- BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 19-13
 - 説明 19-3
 - ディセーブル化 19-14
- BPDU メッセージ交換 17-3
- EtherChannel ガード
 - イネーブル化 19-15
 - 説明 19-8
 - ディセーブル化 19-16
- IEEE 802.1t および VLAN ID 17-4
- IEEE 802.1D およびブリッジ ID 17-4
- IEEE 802.1D およびマルチキャスト アドレス 17-9
- IEEE 802.1Q トランクに関する制限事項 17-11
- PortFast
 - イネーブル化 19-11
 - 説明 19-2
- PortFast 対応ポートのシャットダウン 19-3
- UplinkFast
 - イネーブル化 19-14
 - 説明 19-4
- VLAN ブリッジ 17-11
- インターフェイス ステート
 - 概要 17-5
 - ディセーブル 17-7
 - フォワーディング 17-6, 17-7
 - ブロッキング 17-6
 - ラーニング 17-7
 - リスニング 17-6
- インターフェイス ステート、ブロッキングからフォワーディング 19-2
- オプション機能のデフォルト設定 19-10
- 下位 BPDU 17-4
- 概要 17-2
- カウンタ、クリア 17-23
- 拡張システム ID
 - 異常動作 17-16
 - 概要 17-4
 - セカンダリ ルート スイッチへの影響 17-17
 - ルート スイッチへの影響 17-15
- 間接リンク障害の検出 19-6
- キープアライブ メッセージ 17-3
- サポートされている機能 1-6
- サポートされるインスタンス 17-10
- サポートされるオプション機能 1-6
- サポートされるプロトコル 17-9
- サポートされるモード 17-9
- 指定スイッチ、定義 17-4
- 指定ポート、定義 17-4
- 冗長接続 17-8
- ステータスの表示 17-23
- ステータス、表示 17-23
- 設定
 - Hello タイム 17-21
 - 最大エージング タイム 17-22
 - スイッチ プライオリティ 17-20
 - スパニングツリー モード 17-14
 - セカンダリ ルート スイッチ 17-17
 - 転送遅延時間 17-22
 - 転送保留カウント 17-23
 - パス コスト 17-19
 - ポート プライオリティ 17-17
 - ルート スイッチ 17-15
- 設定時の注意事項 17-13, 19-10
- タイマー、説明 17-21
- ディセーブル化 17-15
- デフォルト設定 17-12
- パス コスト 12-29, 12-30
- 負荷分散
 - 概要 12-27
 - パス コストの使用 12-29
 - ポート プライオリティの使用 12-28
- ポート プライオリティ 12-28
- マルチキャスト アドレス、作用 17-9
- モード間の相互運用性と下位互換性 17-10
- 優位 BPDU 17-3
- ルート ガード
 - イネーブル化 19-16
 - 説明 19-8
- ルート スイッチ
 - 異常動作 17-16
 - 拡張システム ID の影響 17-4, 17-15
 - 設定 17-15
 - 選定 17-4
- ルート スイッチとしての選択防止 19-8
- ルート ポート選択の高速化 19-4
- ルート ポート、定義 17-4

- ループ ガード
 - イネーブル化 19-17
 - 説明 19-9
 - レイヤ 2 プロトコル トネリング 16-9
 - SunNet Manager 1-5
 - SVI
 - IP ユニキャスト ルーティング 34-4
 - VLAN 間のルーティング 12-3
 - VLAN の接続 10-10
 - 定義 10-5
 - ルータ ACL 31-5
 - Switch Database Management
 - SDM を参照
 - Switched Port Analyzer
 - SPAN を参照
 - switchport block multicast コマンド 24-9
 - switchport block unicast コマンド 24-9
 - switchport mode dot1q-tunnel コマンド 16-8
 - switchport protected コマンド 24-7
 - switchport コマンド 10-16
 - Syslog
 - システム メッセージ ログイングを参照
- T**
- TACACS+
 - アカウントティング、定義 8-12
 - 概要 8-11
 - 許可、定義 8-12
 - クラスタ 5-14
 - サーバの識別 8-14
 - サポート 1-9
 - 設定
 - アカウントティング 8-18
 - 許可 8-17
 - 認証鍵 8-14
 - ログイン認証 8-15
 - 設定の表示 8-18
 - デフォルト設定 8-14
 - 動作 8-13
 - 認証、定義 8-12
 - ユーザがアクセスしたサービスの追跡 8-18
 - ユーザへのサービスの制限 8-17
 - tar ファイル
 - イメージ ファイル形式 B-22
 - 作成 B-6
 - 抽出 B-7
 - 内容表示 B-7
 - TDR 1-12
 - Telnet
 - 管理インターフェイスのアクセス 2-11
 - 接続数 1-6
 - パスワードの設定 8-7
 - Terminal Access Controller Access Control System Plus
 - TACACS+ を参照
 - TFTP
 - イメージ ファイル
 - アップロード B-26
 - 削除 B-25
 - 準備、サーバ B-23
 - ダウンロード B-24
 - コンフィギュレーション ファイル
 - アップロード B-12
 - 準備、サーバ B-11
 - ダウンロード B-12
 - サーバによるアクセスの制限 30-16
 - 自動設定の場合 3-6
 - ベース ディレクトリのコンフィギュレーション ファイル 3-6
 - TFTP サーバ 1-5
 - Time Domain Reflector
 - TDR を参照
 - time-range コマンド 31-18
 - ToS 1-9
 - traceroute コマンド 42-22
 - IP traceroute も参照
 - traceroute、レイヤ 2
 - 1 ポートに複数のデバイス 42-20
 - ARP 42-19
 - CDP 42-19
 - IP アドレスおよびサブネット 42-19
 - MAC アドレスと VLAN 42-19
 - 使用時の注意事項 42-19
 - 説明 42-19
 - ブロードキャスト トラフィック 42-19
 - マルチキャスト トラフィック 42-19
 - ユニキャスト トラフィック 42-19

- U**
- UDLD**
- イネーブル化
 - インターフェイス単位 26-7
 - グローバル 26-6
 - インターフェイスのリセット 26-7
 - エコーによる検出メカニズム 26-3
 - 概要 26-2
 - サポート 1-6
 - ステータス、表示 26-8
 - 設定時の注意事項 26-5
 - ディセーブル化
 - インターフェイス単位 26-7
 - グローバル 26-6
 - 光ファイバインターフェイス 26-6
 - デフォルト設定 26-5
 - ネイバデータベース 26-3
 - リンク検出メカニズム 26-2
 - レイヤ2プロトコルトンネリング 16-12
- UDLD によってディセーブルにされたインターフェイスのリセット 26-7
- UDP、設定 34-16
- UniDirectional Link Detection プロトコル
- UDLD を参照
- UNIX Syslog サーバ
- サポートされているファシリティ 29-13
 - デーモンの設定 29-12
 - メッセージロギングの設定 29-13
- UplinkFast
- イネーブル化 19-14
 - サポート 1-6
 - 説明 19-4
 - ディセーブル化 19-15
- User Datagram Protocol
- UDP を参照
- V**
- VLAN**
- config-vlan モードでの作成 12-10
 - ID 1006 ~ 4094 の設定 12-14
 - RSPAN による送信元トラフィックの制限 27-24
 - SPAN による送信元トラフィックの制限 27-16
 - STP および IEEE 802.1Q トランク 17-11
 - SVI による接続 10-10
 - VLAN コンフィギュレーション モードでの作成 12-11
 - VLAN データベースへの追加 12-10
 - VLAN ブリッジ STP 17-11, 41-2
 - VTP モード 13-3
 - 拡張範囲 12-1, 12-14
 - 機能 1-7
 - サービスプロバイダー ネットワーク内のカスタマー番号 16-3
 - 削除 12-12
 - サポート 12-3
 - サポートされる数 1-7
 - 図 12-2
 - スタティック アクセス ポート 12-13
 - スパニングツリー インスタンス 12-3, 12-8, 12-15
 - 設定 12-1
 - 設定オプション 12-8
 - 設定時の注意事項、拡張範囲 VLAN 12-14
 - 設定時の注意事項、標準範囲 VLAN 12-7
 - 説明 10-2, 12-2
 - 相互間トラフィック 12-3
 - ダイナミック アドレスのエージング タイム 17-9
 - 追加 12-10
 - デフォルト設定 12-9
 - トークンリング 12-7
 - トランクでの許可 VLAN 12-24
 - 内部 12-15
 - ネイティブ、設定 12-26
 - パラメータ 12-6
 - 表示 12-18
 - 標準範囲 12-1, 12-6
 - 変更 12-10
 - ポート メンバーシップ モード 12-4
 - マルチキャスト 23-19
 - VLAN 1 最小化 12-25
 - VLAN 1、トランク ポートでのディセーブル化 12-25
 - VLAN ACL
 - VLAN マップを参照
 - vlan database コマンド 12-8
 - vlan dot1q tag native コマンド 16-6
 - VLAN ID、検出 6-28
 - VLAN Query Protocol
 - VQP を参照
 - VLAN Trunking Protocol
 - VTP を参照

- VLAN 管理ドメイン 13-2
- VLAN 間ルーティング 1-10, 34-2
- vlan グローバル コンフィギュレーション コマンド 12-8
- VLAN コンフィギュレーション モード 2-3, 12-8
- VLAN 制限
 - IEEE 802.1x の利用 9-14
 - 設定 9-35
 - 説明 9-14
- VLAN 設定
 - 起動時 12-9
 - 保存 12-9
- VLAN データベース
 - VLAN 設定、保存 12-9
 - VTP 13-1
 - 格納された VLAN 12-6
 - スタートアップ コンフィギュレーション ファイル 12-9
- VLAN トランク 12-19
- VLAN の削除 12-12
- VLAN フィルタリング、SPAN 27-7
- VLAN マップ
 - ACL および VLAN マップの例 31-35
 - 一般的な使用法 31-37
 - サーバへのアクセス拒否 31-38
 - 削除 31-37
 - 作成 31-34
 - サポート 1-8
 - 設定 31-32
 - 設定時の注意事項 31-33
 - 定義 31-3
 - 適用 31-36
 - パケットの拒否および許可 31-34
 - 表示 31-44
 - ワイヤリング クローゼットの設定例 31-37
- VLAN マップ エントリ、順序 31-33
- VLAN マネジメント ポリシー サーバ
 - VMPS を参照
- VLAN メンバーシップ
 - 確認 12-34
 - モード 12-4
- VLAN 割り当て応答、VMPS 12-31
- vlan.dat ファイル 12-6
- VMPS
 - MAC アドレスと VLAN のマッピング 12-31
 - 管理 12-35
 - サーバアドレスの入力 12-33
 - 再確認インターバル、変更 12-35
 - 再試行回数、変更 12-35
 - 設定時の注意事項 12-32
 - 設定例 12-37
 - 説明 12-31
 - ダイナミック ポート メンバーシップ
 - 再確認 12-35
 - 説明 12-32
 - トラブルシューティング 12-36
 - デフォルト設定 12-32
 - メンバーシップの再確認 12-34
 - モニタ 12-35
- Voice over IP 15-2
- VPN
 - サービス プロバイダーのネットワーク内 34-67
 - フォワーディング 34-69
 - ルーティングの設定 34-71
 - ルート 34-68
- VQP 1-7, 12-31
- VRF
 - 定義 34-69
 - テーブル 34-67
- VRF テーブル
 - VRF を参照
- VTP
 - アドバタイズメント 12-22, 13-4
 - 拡張範囲 VLAN 13-2
 - クライアント モード、設定 13-12
 - コンフィギュレーション リビジョン番号
 - 注意事項 13-16
 - リセット 13-17
 - コンフィギュレーション モード オプション 13-8
 - サーバ モード、設定 13-11
 - サポート 1-7
 - 使用方法 13-2
 - 整合性検査 13-5
 - 設定
 - VLAN コンフィギュレーション モード 13-9
 - イネーブル EXEC モード 13-8
 - クライアント モード 13-12
 - グローバル コンフィギュレーション モード 13-8
 - サーバ モード 13-11
 - 注意事項 13-9
 - 透過モード 13-13
 - 保存 13-9

- 要件 13-10
 - 設定要件 13-10
 - 説明 13-2
 - ディセーブル化 13-13
 - デフォルト設定 13-8
 - 統計情報 13-17
 - トークンリング サポート 13-5
 - ドメイン 13-2
 - ドメインへのクライアントの追加 13-16
 - ドメイン名 13-9
 - トランスペアレント モード、設定 13-13
 - バージョン 1 13-5
 - バージョン 2
 - イネーブル化 13-14
 - 概要 13-5
 - 設定時の注意事項 13-10
 - ディセーブル化 13-15
 - バージョン、注意事項 13-10
 - パスワード 13-10
 - 標準範囲 VLAN 13-2
 - プルーニング
 - イネーブル化 13-15
 - 概要 13-5
 - サポート 1-7
 - ディセーブル化 13-16
 - 例 13-6
 - プルーニング適格リスト、変更 12-26
 - モード
 - クライアント 13-3, 13-12
 - サーバ 13-3, 13-11
 - 透過 13-4, 13-13
 - 変更 13-3
 - モニタ 13-17
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-9
 - VTP バージョン 2 における整合性検査 13-5
- W**
- Web 認証
 - IEEE 802.1x のフォールバック 9-42
 - 設定 9-41?9-43
 - 説明 1-7, 9-20
 - Weighted Tail Drop
 - WTD を参照
 - WTD
 - サポート 1-10
- の設定
 - 出力キューセット 32-73
 - 入力キュー 32-68
 - 説明 32-13
- X**
- XMODEM プロトコル 42-2
- あ**
- アカウントティング
 - IEEE 802.1x 9-9, 9-33
 - RADIUS 8-29
 - TACACS+ 8-12, 8-18
 - アクセス
 - テンプレート 7-2
 - アクセス グループ
 - インターフェイスへの IPv4 ACL の適用 31-22
 - レイヤ 2 31-22
 - レイヤ 3 31-22
 - アクセス コントロール エントリ
 - ACE を参照
 - アクセス テンプレート 7-2
 - アクセス ポート
 - スイッチ クラスタ 5-8
 - 定義 10-3
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-12
 - アクセス リスト
 - ACL を参照
 - アクセス拒否応答、VMPS 12-31
 - アクセスの制限
 - NTP サービス 6-9
 - RADIUS 8-19
 - TACACS+ 8-11
 - 概要 8-2
 - パスワードおよび権限レベル 8-3
 - アクセス不能認証バイパス 9-15
 - アクセス方法
 - クラスタ、スイッチ 5-12
 - コマンド スイッチ 5-10
 - スイッチ クラスタ 5-12
 - メンバー スイッチ 5-12
 - アクティブ リンク 20-2
 - アクティブ ルータ 38-2
 - アップグレード情報

- リリース ノートを参照
 - アップロード
 - イメージファイル
 - FTP の使用 B-30
 - RCP の使用 B-35
 - TFTP の使用 B-26
 - 準備 B-23, B-27, B-32
 - 目的 B-21
 - コンフィギュレーション ファイル
 - FTP の使用 B-15
 - RCP の使用 B-19
 - TFTP の使用 B-12
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - 宛先 IP アドレスベース転送、EtherChannel 33-7
 - 宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel 33-7
 - 宛先アドレス
 - IPv6 ACL 内 37-6
 - 宛先アドレス、IPv4 ACL 31-13
 - アドバタイズメント
 - CDP 25-2
 - RIP 34-21
 - VTP 12-22, 13-3, 13-4
 - アトリビュート、RADIUS
 - ベンダー固有 8-30
 - ベンダー独自仕様 8-32
 - アドレス
 - MAC アドレス テーブルの表示 6-28
 - MAC、検出 6-28
 - スタティック
 - 追加および削除 6-25
 - 定義 6-21
 - ダイナミック
 - エージング タイムの短縮 17-9
 - エージング タイムの変更 6-22
 - 削除 6-23
 - 定義 6-21
 - デフォルトのエージング タイム 17-9
 - ラーニング 6-21
 - マルチキャスト
 - STP アドレス管理 17-9
 - グループアドレスの範囲 39-3
 - アドレス エイリアス 23-2
 - アドレス解決 6-28, 34-8
 - アベイラビリティ、機能 1-6
 - アラーム、RMON 28-3
 - 暗号化ソフトウェア イメージ
 - Kerberos 8-33
 - SSH 8-39
 - SSL 8-43
 - 安全なリモート接続 8-39
- い
- イーサネット VLAN
 - 追加 12-10
 - デフォルトおよび範囲 12-9
 - 変更 12-10
 - 一時的な自己署名証明書 8-44
 - イネーブル EXEC モード 2-2
 - イネーブル シークレット パスワード 8-4
 - イネーブル パスワード 8-4
 - イベント、RMON 28-3
 - インターネット グループ管理プロトコル
 - IGMP を参照
 - インターフェイス
 - Auto-MDIX、設定 10-22
 - IPv4 と IPv6 の設定 35-13
 - カウンタ、クリア 10-32
 - 管理 1-5
 - 記述 10-26
 - 記述、追加 10-26
 - 再起動 10-32
 - サポート 10-11
 - シャットダウン 10-32
 - 情報の表示 10-31
 - ステータス 10-31
 - 設定
 - 手順 10-11
 - 設定時の注意事項
 - 速度およびデュプレックス 10-19
 - 説明 10-26
 - 速度およびデュプレックス、設定 10-20
 - タイプ 10-2
 - デフォルト設定 10-16
 - 範囲 10-12
 - 番号 10-11
 - 物理的な識別 10-11
 - フロー制御 10-21
 - モニタ 10-31
 - レンジ マクロ 10-14

インターフェイス コンフィギュレーション モード
2-3
 インターフェイス タイプ 10-11
 インターフェイス ラインプロトコル ステート 追跡
38-13
 インターフェイスでの shutdown コマンド 10-32
 インターフェイスのクリア 10-32

う

ウィザード 1-3

え

永続的な自己署名証明書 8-44
 エージング タイム
 MAC アドレス テーブル 6-22
 最大
 MSTP 用 18-25, 18-26
 STP 17-22, 17-23
 短縮
 MSTP 用 18-25
 STP 17-9, 17-22
 エージング タイム、短縮 17-9
 エラー メッセージ、コマンド入力時 2-5

お

オブジェクト 追跡、HSRP 38-19
 オプション、管理 1-5
 音声 VLAN
 Cisco 7960 IP Phone、ポート接続 15-2
 IP Phone の音声トラフィック、説明 15-2
 IP Phone のデータトラフィック、説明 15-3
 IP Phone への接続 15-5
 音声トラフィック用のポート設定
 802.1p プライオリティ タグ付きフレーム
 15-6
 802.1Q フレーム 15-6
 設定時の注意事項 15-4
 説明 15-2
 データトラフィック用の IP Phone の設定
 着信フレームの CoS の変更 15-7
 着信フレームの CoS プライオリティを信頼
 15-7
 デフォルト設定 15-4

表示 15-8
 オンライン診断
 概要 43-1
 テストの実行 43-4

か

階層型のポリシー マップ 32-8
 設定 32-53
 設定時の注意事項 32-34
 説明 32-11
 ガイド モード 1-3
 外部 VLAN
 音声 VLAN を参照
 回復手順 42-1
 外部ネイバ、BGP 34-49
 カウンタのクリア、インターフェイス 10-32
 拡張 IP サービス イメージ 35-1
 拡張オブジェクト 追跡
 HSRP 38-19
 IP ルーティング ステート 38-13
 コマンド 38-13
 追跡リスト 38-14
 定義 38-13
 ラインプロトコル ステート 38-13
 拡張システム ID
 MSTP 18-19
 STP 17-4, 17-15
 拡張範囲 VLAN
 作成 12-15
 設定 12-14
 設定時の注意事項 12-14
 定義 12-1
 内部 VLAN ID による作成 12-17
 仮想 IP アドレス
 クラスター スタンバイ グループ 5-10
 コマンド スイッチ 5-10
 仮想ルータ 38-2, 38-3
 環境変数、機能 3-16
 間接リンク障害の検出、STP 19-6
 管理 VLAN
 異なる管理 VLAN からの検出 5-7
 スイッチ クラスターの考慮事項 5-7
 管理アクセス
 帯域外コンソール ポート接続 1-6

- 帯域内
 - CLI セッション 1-6
 - SNMP 1-6
 - デバイス マネージャ 1-6
 - ブラウザ セッション 1-6
- 管理オプション
 - CLI 2-1
 - CNS 4-2
 - Network Assistant 1-3
 - 概要 1-5
 - クラスタ 1-3
- 管理距離
 - OSPF 34-33
 - 定義 34-91
 - ルーティング プロトコルのデフォルト 34-80
- 管理の簡易性に関する機能 1-5
- 関連資料 xliii

- き
- キープアライブ メッセージ 17-3
- 起動
 - 起動プロセス 3-2
 - 手動 3-14
 - 特定のイメージ 3-15
 - ブート ロード、機能 3-2
- 機能、互換 24-13
- 逆アドレス解決 34-8
- 許可
 - RADIUS 8-28
 - TACACS+ 8-12, 8-17
- 許可 VLAN リスト 12-24
- 許可ポート、IEEE 802.1x 9-7
- 近接ディスカバリおよび回復、EIGRP 34-37
- 近接ディスカバリ、IPv6 35-4

- く
- クエリー送信要求、IGMP 23-13
- クエリー、IGMP 23-4
- クライアント プロセス、追跡 38-13
- クライアント モード、VTP 13-3
- クラス マップ、QoS
 - 設定 32-47
 - 説明 32-7
 - 表示 32-80
- クラスタ スタンバイ グループ
 - HSRP グループ 38-11
 - HSRP も参照
 - 仮想 IP アドレス 5-10
 - 考慮事項 5-10
 - 自動復旧 5-12
 - 定義 5-2
 - 要件 5-3
- クラスタおよび HSRP グループのバインド 38-11
- クラスタ要件 xliii
- クラスタ、スイッチ
 - 候補スイッチ、コマンドスイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、メンバー スイッチ、およびスタンバイ コマンドスイッチも参照
- LRE プロファイルの考慮事項 5-14
- アクセス方法 5-12
- 管理
 - CLI の使用 5-15
 - SNMP の使用 5-16
- 機能 1-3
- 互換 5-4
- 自動検出 5-4
- 自動復旧 5-9
- 説明 5-1
- プランニング 5-4
- プランニングの考慮事項
 - CLI 5-15
 - IP アドレス 5-12
 - LRE プロファイル 5-14
 - RADIUS 5-14
 - SNMP 5-14, 5-16
 - TACACS+ 5-14
 - 自動検出 5-4
 - 自動復旧 5-9
 - パスワード 5-13
 - ホスト名 5-13
- クラスレス ルーティング 34-7
- クリティカル認証、IEEE 802.1x 9-37
- グローバル Leave、IGMP 23-13
- グローバル コンフィギュレーション モード 2-2
- クロック
 - システム クロックを参照

- け
- ケーブル、単一方向リンクのモニタ 26-2

- ゲスト VLAN と IEEE 802.1x 9-12
- 権限レベル
 - 回線に対するデフォルトの変更 8-10
 - 概要 8-3, 8-8
 - コマンドスイッチ 5-15
 - コマンドの設定 8-9
 - 終了 8-10
 - メンバースイッチとの対応 5-15
 - ログイン 8-10
- 検出、クラスタ
 - 自動検出を参照
- こ
- 構成例、ネットワーク 1-16
- 高速コンバージェンス 18-11
- 候補スイッチ
 - コマンドスイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、およびメンバースイッチも参照
 - 自動検出 5-4
 - 定義 5-3
 - 要件 5-3
- 互換、機能 24-13
- コマンド
 - no および default 2-5
 - 省略 2-4
- コマンドスイッチ
 - アクセス方法 5-10
 - アクティブ (AC) 5-9
 - 回復
 - コマンドスイッチの障害 5-9, 42-9
 - メンバースイッチとの接続 42-13
 - 交換
 - クラスタ メンバー 42-9
 - 他のスイッチ 42-11
 - 候補スイッチ、コマンドスイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、およびメンバー スイッチも参照
 - 冗長 5-9
 - スタンバイ (SC) 5-9
 - 設定の矛盾 42-13
 - 定義 5-2
 - パスワード権限レベル 5-15
 - パッシブ (PC) 5-9
 - プライオリティ 5-9
 - 要件 5-3
- コマンドモード 2-2
- コマンドの権限レベルの設定 8-9
- コマンドの省略 2-4
- コマンドライン インターフェイス
 - CLI を参照
- コミュニティ VLAN 14-2, 14-3
- コミュニティ ストリング
 - SNMP 5-14
 - 概要 30-4
 - クラスタ 5-14
 - クラスタ スイッチ 30-4
 - 設定 5-14, 30-8
- コミュニティ ポート 14-3
- コミュニティ リスト、BGP 34-59
- 混合ポート
 - 設定 14-13
 - 定義 14-3
- コンソール ポート、接続 2-11
- コンフィギュレーション ファイル
 - DHCP による入手 3-8
 - TFTP サーバ アクセスの制限 30-16
 - アップロード
 - FTP の使用 B-15
 - RCP の使用 B-19
 - TFTP の使用 B-12
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - 格納されたコンフィギュレーションの削除 B-20
 - コピー時の無効な組み合わせ B-5
 - 作成および使用上の注意事項 B-9
 - システム コンタクトおよびロケーション 30-16
 - スタートアップ コンフィギュレーションの消去 B-20
 - 説明 B-9
 - タイプおよび場所 B-10
 - ダウンロード
 - FTP の使用 B-14
 - RCP の使用 B-18
 - TFTP の使用 B-12
 - 自動 3-13
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - テキスト エディタによる作成 B-10
 - デフォルトの名前 3-13
 - パスワード回復をディセーブルにする場合の考慮事項 8-6

- ファイル名の指定 3-13
- コンフィギュレーション ロギング 2-6

- さ
- サーバモード、VTP 13-3
- サービス クラス
 - CoS を参照
- サービス タイプ
 - ToS を参照
- サービス プロバイダー ネットワーク、MSTP および RSTP 18-1
- サービス品質
 - QoS を参照
- サービスプロバイダー ネットワーク
 - EtherChannel のレイヤ2 プロトコル トンネリング 16-10
 - IEEE 802.1Q トンネリング 16-2
 - カスタマー VLAN 16-3
 - サービスプロバイダー ネットワークをまたがるレイヤ2 プロトコル 16-9
- 再確認インターバル、VMPS、変更 12-35
- 再試行回数、VMPS、変更 12-35
- 最大エージング タイム
 - MSTP 18-25
 - STP 17-22
- 最大ホップ カウント、MSTP 18-26
- サブドメイン、プライベート VLAN 14-2
- サブネット ゼロ 34-6
- サブネット マスク 34-6

- し
- 時間範囲、ACL 31-18
- しきい値、トラフィック レベル 24-3
- 時刻
 - NTP およびシステム クロックを参照
- シスコ インテリジェント電力管理 10-7
- システム MTU および IEEE 802.1Q トンネリング 16-6
- システム クロック
 - NTP も参照
 - 概要 6-2
 - 設定
 - 手動 6-13
 - タイム ゾーン 6-13
 - 夏時間 6-14
 - 日時の表示 6-13
- システム プロンプト、デフォルト設定 6-16
- システム メッセージ ロギング
 - level キーワード、説明 29-9
 - Syslog 機能 1-11
 - UNIX Syslog サーバ
 - サポートされているファシリティ 29-13
 - デーモンの設定 29-12
 - ロギング ファシリティの設定 29-13
 - イネーブル化 29-5
 - エラー メッセージの重大度の定義 29-9
 - 概要 29-2
 - シーケンス番号、イネーブル化およびディセーブル化 29-8
 - 設定の表示 29-14
 - タイム スタンプ、イネーブル化およびディセーブル化 29-7
 - ディセーブル化 29-4
 - デフォルト設定 29-4
 - 表示宛先デバイスの設定 29-5
 - ファシリティ キーワード、説明 29-13
 - メッセージフォーマット 29-3
 - メッセージの制限 29-10
 - ログ メッセージの同期化 29-6
- システム リソースの最適化 7-2
- システム名
 - DNS も参照
 - 手動設定 6-16
 - デフォルト設定 6-16
- 実行コンフィギュレーション、保存 3-12
- 自動 QoS
 - QoS を参照
- 自動 RP、検出 39-5
- 自動検出
 - CDP も参照
 - 考慮事項
 - CDP 非対応デバイス 5-5
 - 新しいスイッチ 5-8
 - 管理 VLAN 5-7
 - クラスタ非対応デバイス 5-5
 - 異なる VLAN 5-6
 - 接続性 5-4
 - 非候補デバイスより先 5-7
 - ルーテッド ポート 5-8
 - スイッチ クラスタ 5-4
- 自動検知、ポート速度 1-4

- 自動設定 3-4
- 自動ネゴシエーション
 - インターフェイス設定時の注意事項 10-19
 - デュプレックス モード 1-4
 - 不一致 42-14
- 自動復旧、クラスタ 5-9
 - HSRP も参照
- 重大度、システム メッセージの定義 29-9
- 集約アドレス、BGP 34-62
- 集約可能なグローバルユニキャスト アドレス 35-3
- 集約ポート
 - EtherChannel を参照
- 集約ポリサー 32-60
- 集約ポリシング 1-9
- 照合
 - IPv6 ACL 37-3
- 照合、IPv4 ACL 31-8
- 冗長性
 - EtherChannel 33-3
 - HSRP 38-2
 - STP
 - パス コスト 12-29
 - バックボーン 17-8
 - ポート プライオリティ 12-27
- 冗長リンクおよび UplinkFast 19-14
- 初期設定
 - Express Setup 1-3
 - 『Getting Started Guide』およびハードウェア インストレーション ガイドも参照
 - デフォルト値 1-13
- 侵入検知システム
 - IDS 装置を参照
- 信頼性のあるタイム ソース、説明 6-3
- 信頼できるトランスポート プロトコル、EIGRP 34-37

- す
- スイッチ ソフトウェアの機能 1-2
- スイッチ プライオリティ
 - MSTP 18-23
 - STP 17-20
- スイッチ ポート 10-3
- スイッチ仮想インターフェイス
 - SVI を参照
- スイッチ間リンク
 - ISL を参照
- スイッチド パケット、ACL 上 31-41
- スイッチのクラスタ化テクノロジー 5-1
 - クラスタ、スイッチも参照
- スイッチのコンソール ポート 1-6
- スーパーネット 34-7
- スタートアップ コンフィギュレーション
 - 起動
 - 手動 3-14
 - 特定のイメージ 3-15
 - 起動のデフォルト設定 3-13
 - コンフィギュレーション ファイル
 - 自動ダウンロード 3-13
 - ファイル名の指定 3-13
 - 消去 B-20
- スタティック IP ルーティング 1-10
- スタティック MAC アドレッシング 1-7
- スタティック VLAN メンバーシップ 12-2
- スタティック アクセス ポート
 - VLAN への割り当て 12-13
 - 定義 10-3, 12-4
- スタティック アドレス
 - アドレスを参照
- スタティック ルーティング 34-3
- スタティック ルート
 - IPv6 の設定 35-16
 - 設定 34-80
- スタブ エリア、OSPF 34-31
- スタブ ルーティング、EIGRP 34-43
- スタンバイ グループ、クラスタ
 - クラスタ スタンバイ グループと HSRP を参照
- スタンバイ コマンド スイッチ
 - 仮想 IP アドレス 5-10
 - クラスタ スタンバイ グループと HSRP も参照
 - 考慮事項 5-10
 - 設定 5-2
 - 定義 5-2
 - プライオリティ 5-9
 - 要件 5-3
- スタンバイ タイマー、HSRP 38-10
- スタンバイ リンク 20-2
- スタンバイ ルータ 38-2
- スティッキー ラーニング 24-11
- ステートレス自動設定 35-5

- ストーム制御
 - サポート 1-4
 - しきい値 24-2
 - 設定 24-4
 - 説明 24-2
 - ディセーブル化 24-6
 - 表示 24-20
- ストラタム、NTP 6-3
- スヌーピング、IGMP 23-2
- スパニングツリープロトコル
 - STP を参照
- スパニングツリーおよびネイティブ VLAN 12-22
- スプリット ホライズン、RIP 34-24

- せ
- 成功応答、VMPS 12-31
- セカンダリ VLAN 14-2
- セキュア HTTP クライアント
 - 設定 8-48
 - 表示 8-49
- セキュア HTTP サーバ 8-43
 - 設定 8-46
 - 表示 8-49
- セキュア MAC アドレス
 - 最大数 24-11
 - 削除 24-18
 - タイプ 24-10
- セキュア ポート、設定 24-10
- セキュリティ機能 1-7
- セキュリティ、ポート 24-10
- 設計例、ネットワーク 1-16
- 接続障害 42-17, 42-19, 42-21
- 接続、安全なリモート 8-39
- 設定時の注意事項、マルチ VRF CE 34-69
- 設定の矛盾、メンバー スイッチとの接続の回復 42-13
- 設定変更、ロギング 29-11
- 設定ロガー 29-11
- 設定、保存 3-12
- セットアップ プログラム
 - 故障したコマンド スイッチの交換 42-9, 42-11

- そ
- 送信元 IP アドレスベース転送、EtherChannel 33-7
- 送信元 MAC アドレス転送、EtherChannel 33-7
- 送信元 / 宛先 IP アドレスベース転送、EtherChannel 33-8
- 送信元 / 宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel 33-7
- 送信元アドレス
 - IPv6 ACL 内 37-6
- 送信元のアドレス、IPv4 ACL 31-13
- 即時脱退、IGMP 23-5
 - イネーブル化 36-10
- ソフトウェア イメージ
 - tar ファイル形式、説明 B-22
 - 回復手順 42-2
 - ダウンロードおよびアップロードも参照
 - フラッシュ内の場所 B-22
 - リロードのスケジュール設定 3-17
 - ソフトウェア イメージのアップグレード
 - ダウンロードを参照
- ソフトウェア障害、XMODEM による回復手順 42-2

- た
- 対象読者 xli
- ダイナミック ARP 検査
 - ARP ACL と DHCP スヌーピング エントリの相対的なプライオリティ 22-5
 - ARP キャッシュ ポイズニング 22-2
 - ARP スプーフィング攻撃 22-2
 - ARP パケットのレート制限
 - errdisable ステート 22-5
 - 設定 22-11
 - 説明 22-5
 - ARP 要求、説明 22-2
 - DHCP スヌーピング バインディング データベース 22-3
 - DoS 攻撃、回避 22-11
 - man-in-the middle 攻撃、説明 22-2
 - インターフェイス信頼状態 22-3
 - 機能 22-2
 - 消去
 - 統計情報 22-16
 - ログ バッファ 22-16
 - 設定
 - DHCP 環境 22-7
 - 着信 ARP パケットのレート制限 22-5, 22-11
 - 非 DHCP 環境の ACL 22-9
 - ログ バッファ 22-14

- 設定時の注意事項 22-6
 - 説明 22-2
 - 妥当性チェック、実行 22-13
 - デフォルト設定 22-6
 - 統計情報
 - 消去 22-16
 - 表示 22-16
 - ネットワーク セキュリティ問題とインターフェイス信頼状態 22-3
 - 廃棄されたパケットのロギング、説明 22-5
 - 表示
 - ARP ACL 22-16
 - 信頼状態とレート制限 22-16
 - 設定および動作ステート 22-16
 - 統計情報 22-16
 - ログバッファ 22-16
 - レート制限を超過した場合の errdisable ステート 22-5
 - ログバッファ
 - 消去 22-16
 - 設定 22-14
 - 表示 22-16
 - ダイナミック VLAN メンバーシップの再確認 12-34
 - ダイナミック アドレス
 - アドレスを参照
 - ダイナミック ポート VLAN メンバーシップ
 - 再確認 12-34, 12-35
 - 接続のタイプ 12-34
 - 説明 12-32
 - トラブルシューティング 12-36
 - ダイナミック ルーティング 34-3
 - ダイナミックアクセス ポート
 - 設定 12-34
 - 定義 10-3
 - 特性 12-4
 - タイムゾーン 6-13
 - ダウンロード
 - イメージファイル
 - CMS の使用 1-3
 - FTP の使用 B-28
 - HTTP の使用 1-3, B-21
 - RCP の使用 B-33
 - TFTP の使用 B-24
 - 準備 B-23, B-27, B-32
 - デバイス マネージャまたは Network Assistant を使用 B-21
 - 古いイメージの削除 B-25
 - 目的 B-21
 - コンフィギュレーション ファイル
 - FTP の使用 B-14
 - RCP の使用 B-18
 - TFTP の使用 B-12
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - タグ付きパケット
 - IEEE 802.1Q 16-4
 - レイヤ 2 プロトコル 16-9
 - 脱退タイマーの設定、IGMP 23-6
 - 端末回線、パスワードの設定 8-7
- ち**
- 注意、説明 xlii
 - 注、説明 xlii
- つ**
- ツイストペア イーサネット、単一方向リンクの検出 26-2
 - 追跡一覧のウェイト スレッシュホールド 38-16
 - 追跡一覧のパーセンテージ スレッシュホールド 38-17
 - 追跡オブジェクト 38-13
 - ウェイト スレッシュホールドによる 38-16
 - スレッシュホールド パーセンテージによる 38-17
 - ブール論理式による 38-15
 - 追跡プロセス 38-13
 - 追跡リスト
 - 設定 38-14
 - タイプ 38-14
 - 追跡リストのブール論理式 38-15
- て**
- ディスタンス ベクタ プロトコル 34-3
 - ディスタンスベクトル マルチキャストルーティング プロトコル
 - DVMRP を参照
 - ディレクトリ
 - 作業ディレクトリの表示 B-4
 - 作成および削除 B-4
 - 変更 B-4

- デバイス マネージャ
 - 機能 1-3
 - スイッチのアップグレード B-21
 - 説明 1-3, 1-5
 - 帯域内管理 1-6
 - 要件 xliii
- デバイス検出プロトコル 25-2
- デバッグ
 - エラー メッセージ出力のリダイレクト 42-25
 - コマンドの使用法 42-24
 - システム全体診断のイネーブル化 42-25
 - 特定機能に関するイネーブル化 42-24
- デフォルト ゲートウェイ 3-11, 34-12
- デフォルト ネットワーク 34-81
- デフォルト ルーティング 34-3
- デフォルト ルート 34-81
- デフォルト設定
 - BGP 34-47
 - CDP 25-3
 - DHCP 21-9
 - DHCP Option 82 21-9
 - DHCP スヌーピング 21-9
 - DHCP スヌーピング バインディング データベース 21-9
 - DNS 6-17
 - EIGRP 34-38
 - EtherChannel 33-9
 - Flex Link 20-5
 - HSRP 38-5
 - IEEE 802.1Q トンネリング 16-5
 - IEEE 802.1x 9-22
 - IGMP 39-28
 - IGMP スヌーピング 23-7, 36-6, 36-7
 - IGMP スロットリング 23-28
 - IGMP フィルタリング 23-28
 - IP アドレス、IP ルーティング 34-5
 - IP ソース ガード 21-19
 - IP マルチキャスト ルーティング 39-9
 - IPv6 35-10
 - MAC アドレス テーブル 6-22
 - MAC アドレス テーブル移動更新 20-5
 - MSDP 40-4
 - MSTP 18-16
 - MVR 23-22
 - NTP 6-5
 - OSPF 34-28
 - PIM 39-9
 - RADIUS 8-21
 - RIP 34-21
 - RMON 28-3
 - RSPAN 27-10
 - SDM テンプレート 7-4
 - SNMP 30-7
 - SPAN 27-10
 - SSL 8-45
 - STP 17-12
 - TACACS+ 8-14
 - UDLD 26-5
 - VLAN 12-9
 - VLAN、レイヤ 2 イーサネット インターフェイス 12-22
 - VMPS 12-32
 - VTP 13-8
 - イーサネット インターフェイス 10-16
 - オプションのスパニングツリー設定 19-10
 - 音声 VLAN 15-4
 - 起動 3-13
 - システム メッセージ ロギング 29-4
 - システム名およびプロンプト 6-16
 - 自動 QoS 32-21
 - 初期スイッチ情報 3-3
 - ダイナミック ARP 検査 22-6
 - パスワードおよび権限レベル 8-3
 - バナー 6-19
 - 標準 QoS 32-31
 - フォールバック ブリッジング 41-4
 - プライベート VLAN 14-7
 - マルチ VRF CE 34-69
 - レイヤ 2 インターフェイス 10-16
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-13
 - デュアル IPv4/IPv6 テンプレート 7-3, 35-1, 35-8
 - デュアルプロトコルスタック
 - IPv4 と IPv6 35-8
 - SDM テンプレートのサポート 35-8
 - 設定 35-13
 - デュアルパーパス アップリンク
 - LED 10-7
 - タイプの設定 10-17
 - 定義 10-7
 - リンクの選択 10-7
 - 転送遅延時間
 - MSTP 18-25

- STP 17-22
- 転送保留カウンント
 - STP を参照
- 転送、ユニキャスト要求 1-5
- テンプレート、SDM 7-2

- と
- 等価コストルーティング 1-10, 34-79
- 透過的な DSCP 32-40
- 透過モード、VTP 13-4, 13-13
- 同期化、BGP 34-49
- 統計情報
 - CDP 25-6
 - IEEE 802.1x 9-44
 - IP マルチキャストルーティング 39-52
 - OSPF 34-36
 - QoS 入出力 32-80
 - RMON イーサネットグループ 28-5
 - RMON グループヒストリ 28-4
 - SNMP 入出力 30-18
 - VTP 13-17
 - インターフェイス 10-31
- トークンリング VLAN
 - VTP サポート 13-5
 - サポート 12-7
- 独立 VLAN 14-2, 14-3
- 独立ポート 14-3
- ドメインネームシステム
 - DNS を参照
- ドメイン名
 - DNS 6-17
 - VTP 13-9
- トラップ
 - MAC アドレス通知の設定 6-23
 - イネーブル化 6-23, 30-12
 - 概要 30-2, 30-5
 - 通知タイプ 30-12
 - 定義 30-4
 - マネージャの設定 30-12
- トラップドアメカニズム 3-2
- トラフィック
 - 非分割 31-6
 - フラグディングのブロッキング 24-9
 - 分割 31-6
 - 分割された IPv6 37-3
- トラフィックポリシング 1-9
- トラフィックの優先処理
 - QoS を参照
- トラフィックの抑制 24-2
- トラブルシューティング
 - CiscoWorks 30-5
 - debug コマンド 42-24
 - PIMv1 および PIMv2 の相互運用性の問題 39-24
 - ping の使用 42-17
 - SFP のセキュリティおよび ID 42-15
 - show forward コマンド 42-26
 - traceroute 42-21
 - システムメッセージロギング 29-2
 - 障害 (クラッシュ) 情報の表示 42-29
 - 接続障害 42-17, 42-19, 42-21
 - 単一方向リンクの検出 26-1
 - パケット転送の設定 42-26
- トランキングカプセル化 1-7
- トランク
 - DTP をサポートしないデバイス 12-20
 - ISL 12-19
 - 許可 VLAN リスト 12-24
 - 設定 12-23, 12-28, 12-30
 - タグなしトラフィック用のネイティブ VLAN 12-26
 - パラレル 12-29
 - 負荷分散
 - STP パスコストの設定 12-29
 - STP ポートプライオリティの使用 12-27, 12-28
 - ブルーニング適格リスト 12-26
- トランクフェールオーバー
 - リンクステート追跡を参照
- トランクポート
 - カプセル化 12-23, 12-28, 12-30
 - 設定 12-23
 - 定義 10-4, 12-4
- トンネリング
 - IEEE 802.1Q 16-2
 - 定義 16-1
 - レイヤ 2 プロトコル 16-9
- トンネルポート
 - IEEE 802.1Q、設定 16-8
 - 説明 10-4, 16-2
 - 他の機能との非互換性 16-7
 - 定義 12-5

- な
- 内部ネイバ、BGP 34-49
 - 夏時間 6-14
 - 名前付き IPv4 ACL 31-16
- に
- 二重タグ パケット
- IEEE 802.1Q トンネリング 16-3
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-12
- 認識不能な Type-Length-Value (TLV) のサポート 13-5
- 認証
- EIGRP 34-42
 - HSRP 38-10
 - NTP アソシエーション 6-6
 - RADIUS
 - 鍵 8-22
 - ログイン 8-24
 - TACACS+
 - 鍵 8-14
 - 定義 8-12
 - ログイン 8-15
 - ポートベース認証も参照
 - ローカル モードでの AAA の実装 8-38
- 認証鍵、ルーティング プロトコル 34-92
- 認証失敗 VLAN
- 制限付き VLAN を参照
- ね
- ネイティブ VLAN
- IEEE 802.1Q トンネリング 16-5
 - 設定 12-26
 - デフォルト 12-26
- ネイバ、BGP 34-60
- ネットワーク アドミッション制御
- NAC
- ネットワーク管理
- CDP 25-2
 - RMON 28-1
 - SNMP 30-1
- ネットワークの構成例
- サーバ集約および Linux サーバ クラスタ 1-18
 - 大規模ネットワーク 1-20
 - 中小規模ネットワーク 1-19
 - 長距離広帯域トランスポート 1-22
 - ネットワーク サービスの提供 1-16
 - ネットワーク パフォーマンスの向上 1-16
- ネットワークの設計
- サービス 1-16
 - パフォーマンス 1-16
- は
- バージョン依存型トランスペアレント モード 13-5
- バーチャルプライベート ネットワーク
- VPN を参照
- ハードウェア制限とレイヤ 3 インターフェイス 10-27
- バインディング
- DHCP スヌーピング データベース 21-7
 - IP ソース ガード 21-17
 - アドレス、Cisco IOS DHCP サーバ 21-7
- バインディング データベース
- DHCP スヌーピング
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
 - アドレス、DHCP サーバ
 - DHCP、Cisco IOS サーバ データベースを参照
- バインディング テーブル、DHCP スヌーピング
- DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- パケットの変更、QoS 32-20
- パス MTU ディスカバリ 35-4
- パス コスト
- MSTP 18-22
 - STP 17-19
- パスワード
- VTP ドメイン 13-10
 - 暗号化 8-4
 - 回復 42-4
 - 回復のディセーブル化 8-6
 - 概要 8-2
 - クラスタ 5-13
 - セキュリティ用 1-7
- 設定
- Telnet 8-7
 - イネーブル 8-4
 - イネーブル シークレット 8-4
 - ユーザ名 8-7

デフォルト設定 8-3
 パスワードの暗号化 8-4
 バックアップ インターフェイス
 Flex Link を参照
 バックアップ リンク 20-2
 パッシブ インターフェイス
 OSPF 34-33
 設定 34-89
 バナー
 設定
 MoTD ログイン 6-19
 ログイン 6-20
 デフォルト設定 6-19
 表示の時期 6-19
 バナーを使用してユーザにメッセージ 6-19
 パフォーマンス向上機能 1-4
 パフォーマンス、ネットワークの設計 1-16
 並列パス、ルーティング テーブル内 34-79
 範囲
 インターフェイス 10-12
 マクロ 10-14

ひ

非 IP トラフィックのフィルタリング 31-29
 ピア、BGP 34-60
 非階層型ポリシー マップ
 設定 32-49
 設定時の注意事項 32-34
 説明 32-9
 光ファイバ、単一方向リンクの検出 26-2
 ヒストリ
 コマンドの呼び出し 2-7
 説明 2-6
 ディセーブル化 2-7
 バッファ サイズの変更 2-6
 ヒストリ テーブル、Syslog メッセージの重大度および数 29-10
 非対称リンク、IEEE 802.1Q トンネリング 16-5
 非トランッキング モード 12-20
 表記法 xlii
 コマンド xlii
 書体 xlii
 マニュアル xlii
 例 xlii
 標準範囲 VLAN 12-6

コンフィギュレーション モード 12-8
 設定 12-6
 設定時の注意事項 12-7
 定義 12-1

ふ

ファイル

crashinfo

説明 42-29

tar

イメージ ファイル形式 B-22

作成 B-6

抽出 B-7

内容表示 B-7

拡張 crashinfo

説明 42-29

保存場所 42-29

基本 crashinfo

説明 42-29

保存場所 42-29

コピー B-5

削除 B-5

内容表示 B-8

ファイル システム

使用可能なファイル システムの表示 B-2

デフォルトの設定 B-3

ネットワーク ファイル システム名 B-5

ファイル情報の表示 B-3

ローカル ファイル システム名 B-2

不一致、自動ネゴシエーション 42-14

フィルタリング

IPv6 トラフィック 37-4, 37-8

show および more コマンドの出力 2-10

VLAN 内 31-32

非 IP トラフィック 31-29

フィルタリング、show および more コマンド出力 2-10

フィルタ、IP

ACL、IP を参照

ブート ストラップ ルータ (BSR)、説明 39-6

ブート ローダ

アクセス方法 3-15

環境変数 3-15

説明 3-2

トラップド ア メカニズム 3-2

- プロンプト 3-15
- フォールバック ブリッジング
 - STP
 - hello BPDU インターバル 41-9
 - VLAN ブリッジ STP 41-2
 - VLAN ブリッジ スパニングツリー プライオリティ 41-7
 - インターフェイス プライオリティ 41-7
 - インターフェイスでディセーブル 41-10
 - キーブアライブ メッセージ 17-3
 - 最大アイドル時間 41-10
 - 転送遅延インターバル 41-9
 - パス コスト 41-8
 - SVI およびルーテッド ポート 41-2
 - VLAN ブリッジ STP 17-11
 - インターフェイスの接続 10-10
 - 概要 41-2
 - サポート 1-10
 - 設定時の注意事項 41-4
 - 説明 41-2
 - デフォルト設定 41-4
 - ブリッジ グループ
 - 機能 41-2
 - 削除 41-6
 - 作成 41-5
 - サポートされる数 41-5
 - 説明 41-2
 - 表示 41-11
 - ブリッジ テーブル
 - 消去 41-11
 - 表示 41-11
 - フレーム転送
 - パケットの転送 41-2
 - パケットのフラッディング 41-2
 - プロトコル、未サポート 41-4
 - 保護ポート 41-5
 - 未サポート プロトコル 41-4
 - 不正アクセスの防止 8-2
 - 物理ポート 10-3
 - 不適合マークダウン 1-10
 - プライオリティ
 - CoS の信頼 15-7
 - CoS の変更 15-7
 - HSRP 38-7
 - プライベート VLAN
 - IP アドレス 14-4
 - SDM テンプレート 14-5
 - SVI 14-6
 - エンドステーションアクセス 14-3
 - コミュニティ VLAN 14-2, 14-3
 - コミュニティ ポート 14-3
 - 混合ポート 14-3
 - サブドメイン 14-2
 - セカンダリ VLAN 14-2
 - 設定 14-11
 - 設定作業 14-7
 - 設定時の注意事項 14-8, 14-9
 - デフォルト設定 14-7
 - 独立 VLAN 14-2, 14-3
 - 独立ポート 14-3
 - トラフィック 14-6
 - 複数のスイッチにまたがる 14-4
 - プライマリ VLAN 14-2, 14-3
 - ポート
 - コミュニティ 14-3
 - 混合ポートの設定 14-13
 - 設定時の注意事項 14-9
 - 説明 12-5
 - 独立 14-3
 - プロミスキャス 14-3
 - ホストポートの設定 14-12
 - マッピング 14-14
 - モニタ 14-16
 - 利点 14-2
 - プライベート VLAN エッジ ポート
 - 保護ポートを参照
 - プライマリ VLAN 14-2, 14-3
 - プライマリ リンク 20-2
 - フラッシュ デバイス、数 B-2
 - フラッディング トラフィック、ブロッキング 24-9
 - ブリエンプト
 - デフォルト設定 20-5
 - ブリエンプト遅延
 - デフォルト設定 20-5
 - ブリッジ グループ
 - フォールバック ブリッジングを参照
 - ブリッジド パケット、ACL 上 31-42
 - プルーニング適格リスト
 - VLAN 13-16
 - VTP プルーニング 13-5
 - 変更 12-26

- プルーニング、VTP
 - イネーブル化
 - VTP ドメイン 13-15
 - ポート上 12-26
 - 概要 13-5
 - ディセーブル化
 - VTP ドメイン 13-16
 - ポート上 12-26
 - 例 13-6
 - プレフィクス リスト、BGP 34-57
 - フロー制御
 - 設定 10-21
 - 説明 10-21
 - フローチャート
 - QoS 出力のキューイングおよびスケジューリング 32-17
 - QoS 入力 of キューイングおよびスケジューリング 32-15
 - QoS のポリシングおよびマーキング 32-10
 - QoS 分類 32-6
 - ブロードキャスト ストーム 24-2, 34-14
 - ブロードキャスト ストーム制御コマンド 24-5
 - ブロードキャスト パケット
 - 指定 34-14
 - フラッディング 34-14
 - ブロードキャスト フラッディング 34-17
 - フローベースのパケット分類 1-9
 - プロキシ ARP
 - IP ルーティングがディセーブルの場合 34-11
 - 設定 34-11
 - 定義 34-9
 - ブロッキング パケット 24-9
 - プロトコル依存モジュール、EIGRP 34-38
- へ
- ヘルプ、コマンドライン 2-4
 - 編集機能
 - イネーブル化およびディセーブル化 2-8
 - 画面幅よりも長いコマンドライン 2-10
 - 使用するキーストローク 2-8
- ほ
- ポート
 - IEEE 802.1Q トンネル 12-5
 - VLAN への割り当て 12-13
 - アクセス 10-3
 - スイッチ 10-3
 - スタティック アクセス 12-4, 12-13
 - セキュア 24-10
 - ダイナミックアクセス 12-4
 - デュアルパーパス アップリンク 10-7
 - トランク 12-4, 12-19
 - ブロッキング 24-9
 - 保護 24-7
 - ルーテッド 10-5
 - ポート ACL
 - タイプ 31-3
 - 定義 31-2
 - ポート セキュリティ
 - QoS 信頼境界機能 32-39
 - 違反 24-11
 - エージング 24-18
 - スティッキー ラーニング 24-11
 - 設定 24-14
 - 説明 24-10
 - 他の機能 24-12
 - デフォルト設定 24-12
 - トランク ポート 24-15
 - 表示 24-20
 - ポート チャンネル
 - EtherChannel を参照
 - ポート プライオリティ
 - MSTP 18-21
 - STP 17-17
 - ポート ブロッキング 1-4, 24-9
 - ポート メンバーシップ モード、VLAN 12-4
 - ポート シャットダウン応答、VMPS 12-31
 - ポート信頼状態
 - IP Phone 用ポート セキュリティの確保 32-39
 - QoS ドメイン間 32-41
 - QoS ドメイン内 32-37
 - サポート 1-9
 - 分類オプション 32-5
 - ポートベース認証
 - EAPOL-Start フレーム 9-6
 - EAP-Request/Identity フレーム 9-6
 - EAP-Response/Identity フレーム 9-6
 - VLAN への割り当て
 - AAA 許可 9-26
 - 設定作業 9-11

- 説明 9-10
- 特性 9-10
- Wake-on-LAN、説明 9-17
- アカウントティング 9-9
- アクセス不能認証バイパス
 - 設定 9-37
 - 説明 9-15
 - 注意事項 9-25
- 音声 VLAN
 - PVID 9-16
 - VVID 9-16
 - 説明 9-16
- 開始およびメッセージ交換 9-6
- カプセル化 9-3
- 旧版のリリースからのアップグレード 9-25, 32-26
- クライアント、定義 9-3
- ゲスト VLAN
 - 設定時の注意事項 9-13, 9-14
 - 説明 9-12
- スイッチ
 - RADIUS クライアント 9-3
 - プロキシとして 9-3
- 設定
 - IEEE 802.1x 認証 9-26
 - RADIUS サーバ 9-28
 - VLAN 制限 9-35
 - アクセス不能認証バイパス 9-37
 - クライアントの手動での再認証 9-30
 - ゲスト VLAN 9-34
 - スイッチからクライアントへのフレーム再送信回数 9-32, 9-33
 - スイッチからクライアントへのフレーム再送信時間 9-31
 - スイッチ上の RADIUS サーバ パラメータ 9-27
 - 待機時間 9-31
 - 定期的な再認証 9-30
 - ホストモード 9-29
- 設定時の注意事項 9-23
- 説明 9-2
- デバイスの役割 9-3
- デフォルト設定 9-22
- デフォルト値へのリセット 9-44
- 統計情報の表示 9-44
- 認証サーバ
 - RADIUS サーバ 9-3
 - 定義 9-3
- マルチ ホスト モード、説明 9-8
- 方式リスト 9-26
- ポート
 - 音声 VLAN 9-16
 - 許可および無許可 9-7
 - 許可ステートおよび dot1x port-control コマンド 9-8
 - クリティカル 9-15
- ポート セキュリティ
 - 音声 VLAN 9-17
 - 説明 9-16
 - 相互作用 9-16
 - マルチ ホスト モード 9-8
- ホストモード 9-8
- マジック パケット 9-17
- ユーザ単位 ACL
 - AAA 許可 9-26
 - RADIUS サーバ アトリビュート 9-12
 - 設定作業 9-12
 - 説明 9-11
- 保護ポート 1-7, 24-7
- ホストポート
 - 種類 14-3
 - 設定 14-12
- ホスト名
 - クラスタ 5-13
- ホスト、ダイナミック ポート上の制限 12-36
- ポリサー
 - 数 32-34
 - 設定
 - 一致する各トラフィック クラス 32-49
 - 複数のトラフィック クラス 32-60
 - 説明 32-4
 - タイプ 32-9
 - 表示 32-80
- ポリシー マップ、QoS
 - SVI の階層
 - 設定 32-53
 - 設定時の注意事項 32-34
 - 説明 32-11
 - 階層型 32-8
 - 説明 32-7
 - 特性 32-49
 - 表示 32-80

- 物理ポートの非階層型
 - 設定 32-49
 - 設定時の注意事項 32-34
 - 説明 32-9
- ポリシーベース ルーティング
 - PBR を参照
- ポリシング
 - 階層型
 - 階層型のポリシー マップを参照
 - 説明 32-4
 - トークン バケット アルゴリズム 32-9
- ま
- マーキング
 - 集約ポリサーのアクション 32-60
 - 説明 32-4, 32-8
 - ポリシー マップのアクション 32-49
- マクロ
 - SmartPort マクロを参照
- マジック パケット 9-17
- マッピング テーブル、QoS
 - 設定
 - CoS/DSCP 32-63
 - DSCP 32-62
 - DSCP/CoS 32-66
 - DSCP/DSCP 変換 32-67
 - IP precedence/DSCP 32-64
 - ポリシング済み DSCP 32-65
 - 説明 32-12
- マニュアル
 - 対象読者 xli
 - 目的 xli
- マルチ VRF CE
 - サポート 1-10
 - 設定 34-69
 - 設定時の注意事項 34-69
 - 設定例 34-72
 - 定義 34-67
 - デフォルト設定 34-69
 - ネットワーク コンポーネント 34-69
 - パケット転送処理 34-69
 - 表示 34-77
 - モニタ 34-77
- マルチキャスト TV アプリケーション 23-20
- マルチキャスト VLAN 23-19
 - マルチキャスト VLAN レジストレーション
 - MVR を参照
 - マルチキャスト グループ
 - 加入 23-3
 - 静的加入 23-10, 36-8
 - 即時脱退 23-5
 - 脱退 23-5
 - マルチキャスト ストーム 24-2
 - マルチキャスト ストーム制御コマンド 24-5
 - マルチキャスト パケット
 - ACL 上 31-43
 - ブロッキング 24-9
 - マルチキャスト ルータ インターフェイス、モニタ 23-17, 36-13
 - マルチキャスト ルータ ポート、追加 23-9, 36-9
 - マルチドメイン認証
 - MDA
- み
- ミラーリング、トラフィック解析 27-2
- む
- 無許可ポート、IEEE 802.1x 9-7
- 矛盾、設定 42-13
- め
- メッセージ
 - バナーを使用してユーザに送信 6-19
- メトリック変換、ルーティング プロトコル間 34-85
- メトリック、BGP 内 34-54
- メトロ タグ 16-3
- メンバー スイッチ
 - 管理 5-15
 - 候補スイッチ、クラスタ、スイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、およびコマンド スイッチも参照
 - 自動検出 5-4
 - 接続の回復 42-13
 - 定義 5-2
 - パスワード 5-12
 - 要件 5-3
- メンバーシップ モード、VLAN ポート 12-4

- も
- モジュール番号 10-11
- モニタ
- BGP 34-65
 - CDP 25-6
 - CEF 34-79
 - EIGRP 34-44
 - Flex Link 20-10
 - HSRP 38-12
 - IEEE 802.1Q トンネリング 16-20
 - IGMP
 - スヌーピング 23-17, 36-13
 - フィルタ 23-32
 - IP
 - アドレス テーブル 34-18
 - マルチキャストルーティング 39-52
 - ルート 34-93
 - IPv4 ACL の設定 31-44
 - IPv6 35-23
 - IPv6 ACL 設定 37-10
 - MAC アドレス テーブル移動更新 20-10
 - MSDP ピア 40-18
 - MVR 23-26
 - OSPF 34-36
 - RP マッピング情報 39-24
 - SA メッセージ 40-18
 - SFP ステータス 10-31, 42-16
 - VLAN 12-18
 - フィルタ 31-44
 - マップ 31-44
 - VMPS 12-35
 - VTP 13-17
 - アクセス グループ 31-44
 - インターフェイス 10-31
 - 機能 1-11
 - スイッチ間を流れるトラフィック 28-2
 - 速度およびデプレックス モード 10-20
 - 単一方向リンクのケーブル 26-2
 - トラフィックの抑制 24-20
 - トンネリング 16-20
 - フォールバック ブリッジング 41-11
 - プライベート VLAN 14-16
 - プローブによるネットワーク トラフィック解析 27-2
 - ポート
 - ブロッキング 24-20
 - 保護 24-20
 - マルチ VRF CE 34-77
 - マルチキャスト ルータ インターフェイス 23-17, 36-13
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-20
- ゆ
- ユーザ EXEC モード 2-2
 - ユーザ名ベースの認証 8-7
 - ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング 1-5
 - CPU パケット 6-26
 - スタティック アドレスの追加 6-27
 - 設定時の注意事項 6-26
 - 説明 6-26
 - ブロードキャスト MAC アドレス 6-26
 - マルチキャスト アドレス 6-26
 - ルータ MAC アドレス 6-26
 - ユニキャスト ストーム 24-2
 - ユニキャスト ストーム制御コマンド 24-5
 - ユニキャスト トラフィック、ブロッキング 24-9
- よ
- 要件
- Network Assistant xliv
 - クラスタ xliii
 - デバイス マネージャ xliii
- ら
- ライン コンフィギュレーション モード 2-3
- り
- リセット、BGP 内 34-52
 - リモート SPAN 27-3
 - RSPAN を参照
 - リロードのスケジュール 3-17
 - リロード、ソフトウェア 3-17
 - リンク冗長性
 - Flex Link を参照
 - リンクステート プロトコル 34-3
 - リンクステート 追跡
 - 設定 33-24

説明 33-22
 リンクに対してローカルなユニキャスト アドレス
 35-4
 リンクの失敗
 単一方向の検出 18-8
 リンク、単一方向 26-2
 隣接テーブル、CEF 34-78

る

ルータ ACL
 タイプ 31-5
 定義 31-2
 ルータ ID、OSPF 34-35
 ルーティング
 情報の再配信 34-82
 スタティック 34-3
 ダイナミック 34-3
 デフォルト 34-3
 ルーティング ドメイン連合、BGP 34-63
 ルーティング プロトコルの管理距離 34-80
 ルーティングできないプロトコルの転送 41-1
 ルーテッド パケット、ACL 上 31-42
 ルーテッド ポート
 IP アドレス 10-27, 34-4
 スイッチ クラスタ 5-8
 設定 34-4
 定義 10-5
 ルート ガード
 イネーブル化 19-16
 サポート 1-6
 説明 19-8
 ルート サマライズ、OSPF 34-33
 ルート スイッチ
 MSTP 18-19
 STP 17-15
 ルート ターゲット、VPN 34-69
 ルート ダンピング化、BGP 34-64
 ルート マップ
 BGP 34-55
 ポリシーベース ルーティング 34-85
 ルート リフレクタ、BGP 34-63
 ルート 計算タイマー、OSPF 34-33
 ルート 選択、BGP 34-53
 ループ ガード
 イネーブル化 19-17

サポート 1-7
 説明 19-9

れ

例

ネットワークの構成 1-16
 表記法 xlii

レイヤ 2 traceroute

1 ポートに複数のデバイス 42-20
 ARP 42-19
 CDP 42-19
 IP アドレスおよびサブネット 42-19
 MAC アドレスと VLAN 42-19
 使用時の注意事項 42-19
 説明 42-19
 ブロードキャスト トラフィック 42-19
 マルチキャスト トラフィック 42-19
 ユニキャスト トラフィック 42-19

レイヤ 3 インターフェイス

IP アドレスの割り当て 34-6
 IPv4 および IPv6 アドレスの割り当て 35-13
 IPv6 アドレスの割り当て 35-11
 タイプ 34-4
 レイヤ 2 モードからの変更 34-6

レイヤ 2 インターフェイス、デフォルト設定 10-16

レイヤ 2 フレーム、CoS での分類 32-2

レイヤ 2 プロトコル トンネリング

EtherChannel 用の設定 16-16
 設定 16-12
 注意事項 16-13
 定義 16-9

デフォルト設定 16-13

レイヤ 2 プロトコル パケットのシャットダウンしきい
 値 16-13

レイヤ 2 プロトコル パケットの廃棄しきい値 16-13

レイヤ 3 機能 1-10

レイヤ 3 パケット、分類方法 32-2

レポートの抑制、IGMP

説明 23-6
 ディセーブル化 23-16, 36-12

ろ

ローカル SPAN 27-2
 ロード バランシング 38-4

ログメッセージ

システムメッセージロギングを参照

ログメッセージのシーケンス番号 29-8

ログメッセージのタイムスタンプ 29-7

ログメッセージ、ACL 31-10

ログインバナー 6-19

ログイン認証

RADIUS 8-24

TACACS+ 8-15